

工事特記仕様書（改修）

1. 工事名称	あやま保育所給食室改修工事
1. 工事場所	三重県伊賀市 馬場 地内
2. 敷地面積	6.97.4. 9.9m ²
3. 工事内容	あやま保育所 給食室
構名称	給食コンクリート造 1層建（一部鉄骨造）
建築面積	148.6. 1.0m ²
延べ面積	122.6. 6.2m ²
工事項目	給食室内部改修

- Ⅲ. 建築改修工事仕様
- 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書 令和2年8月制定版」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。
 - 特記仕様
 - 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 - 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
 - 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修標準仕様書の該当項目を示す。

章	項目	特記事項																					
1 一般共通事項	① 適用基準等	1) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）国土交通大臣官庁庁舎補修部監修（平成最新年版） 2) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官庁庁舎補修部監修（平成最新年版）																					
	② 施工条件 (1.3.5)	○ 以下のとおりとし、監督員と協議し決定する。 施工可能日 令和4年8月1日～19日まで（約3週間） 一部により、且曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 指定なし 8時30～17時 組成工期 指定なし 年 月 日 工事着手日は住民説明会（受注者も出席の年）開催後とする。																					
	③ 部分引渡し、部分使用	○ 部分引渡しあり ・ 部分使用あり 指定部分（ ） 時期（令和4年 8月 19日～）給食提供ができるようにすること																					
	4 埋蔵文化財調査	埋蔵文化財調査が行われる場合は協議すること。 ・ 発掘調査の実施あり ・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり																					
	⑤ 発生材の処理等 (1.3.12)	○ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適宜な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。 分別解体等の方法																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造成等</td> <td>有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎くい</td> <td>有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>上部構造部分・外装</td> <td>有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>建築設備・内装等</td> <td>有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他（ ）</td> <td>有 ○ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table>	工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎くい	有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	屋根	有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	その他（ ）	有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
	工程	作業の有無	分別解体等の方法																				
	造成等	有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
	基礎・基礎くい	有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
	上部構造部分・外装	有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
	屋根	有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
建築設備・内装等	有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
その他（ ）	有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
	<ul style="list-style-type: none"> 引き渡しを要するもの ・ 有（ ） 特別管理産業廃棄物 ・ 有（ ） 処理方法（ ） 現場において再利用を図るもの（ ） 再資源化を図るもの ○ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材 成形板等の解体・撤去にあつたは、事前に石綿含有に係る施工調査を行う。含有が判明した等の場合、改修標準仕様書(9.15)に従い処理する。 																						
⑥ 建設副産物情報交換システムの利用	再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金額が100万円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJAGIOが運営する「建設副産物情報交換システム」ヘデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。																						
⑦ 三重県産業廃棄物税	本工事は産業廃棄物相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物納付証明書を送付して当該工事の発注者に対し支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。																						
⑧ 電気保安技術者 (1.3.3)	配置する																						
⑨ 技能士 (1.6.2)	職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。																						
⑩ 施工数量調査 (1.5.2)	調査範囲及び調査方法 ・ 工種別の特記による																						
11 調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)	補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）																						

⑫ 建築材料等	<ol style="list-style-type: none"> 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備器材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」（最新版）（以下「評価名簿」という。）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先利用に努めること。 本工事で使用する建設資材の調達にあつては、種別内取の取扱業者から購入するよう努めること。 部材等、フロンティア又は再生木材ボードを使用する場合は、三重県「環境配慮品の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木村製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督員に提出すること。 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用に努めること。 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入用できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。（認定製品の品名） 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努める。認定製品の品名： ・ 間伐材工事用パレケード ・ 間伐材工事用看板 ・ 間伐材標示板 ・ （ ） 																																
⑬ 化学物質の濃度測定 (1.6.9)	<p>測定対象化学物質（●で示したものとす。）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>施設用途</th> <th>ホルムアルデヒド</th> <th>トルエン</th> <th>キシレン</th> <th>エチルベンゼン</th> <th>スチレン</th> <th>汚染DDBD</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>学校・教育施設</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td></td> <td>住宅</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定対象及び測定箇所数 ・ 図示（図面番号： ） ○（ 調整室） 測定方法（ ・ バックシフ法 ・ アクティブ法） 測定時期 ・ （工事完了後） 報告書提出部数 2部</p>	適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	汚染DDBD		学校・教育施設	●	●	●	●	●	●		住宅	●	●	●	●	●	●		その他	●	●	●	●	●	●
適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	汚染DDBD																										
	学校・教育施設	●	●	●	●	●	●																										
	住宅	●	●	●	●	●	●																										
	その他	●	●	●	●	●	●																										
⑭ 特別な材料の工法	改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。																																
⑮ 騒音・振動の防止	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。																																
⑯ 工事写真 (1.2.4)	省轄工事写真撮影要領（国土交通大臣官庁庁舎補修部（平成31年版））に従い撮影すること。 なお、デジタル工事写真の小規模情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小規模情報電子化について（平成29年3月1日付け監査整第211号）」による。																																
⑰ 完成図等 (1.8.2)	作成する（ ・ 完成図 ・ 保金に関する資料 ・ （ ）） 完成図作成範囲（配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等） 完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第2条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。																																
⑱ 完成写真	デジタルカメラで撮影し、全てA版相当サイズで印刷する。（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。 ・ アルバム（大きさ335mm×290mm程度、カラー） 1部																																
19 電子納品	工事写真は、「業務工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。 （提出部数 ・ 3部 ・ 部） 工事完成図書は、「業務工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」に基づき電子媒体も提出すること。 （提出部数 ・ 3部 ・ 部） 施工範囲																																
⑳ 設備工事との取合い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ○ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ○ 自動昇降装置取付け箇所切込み及び補強 ○ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び 操作スイッチ 																																
㉑ 既存部分等への処置 (1.3.13)	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受けること。																																
㉒ 事故の発生時	工事施工に際し、既存部分を汚損した場合は又は損傷した場合は、監督員に報告するとともに承認を受けて現状に準じて補修する。																																
23 下請次数制限及び市内企業優先利用	<p>本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承認を得ること。</p> <p>本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（2次以下での請負人を含む）を伊賀市内に本店（建設業法において規定する本店）を有する者の中から選定するよう努めること。また、工事場所を所有する建設事務所管内又は隣接する建設事務所管内に本店（建設業法において規定する本店）を有する者を優先して選定するよう努めること。なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。</p>																																
24 総合評価方式	本工事で提案不履行があった場合は、本工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、良次の評価において発注工事の加算点（満点）1割を減算します。 暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について																																
㉓ 不当介入を受けた場合の措置	<ol style="list-style-type: none"> 受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、直ちにこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。 																																
26 消防法関係の手續	<ol style="list-style-type: none"> 消火器に係る消防設備等設置届出書の作成 本工事（ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事） ・ 別途工事 防火対象物使用開始届出書 <p>書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。</p>																																
㉔ 主任技術者又は監理技術者	<ol style="list-style-type: none"> 技術者要件 工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。 a) 専任を要しない期間 (1) 現場施工に着手するまでの期間（請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。） 検査終了後の期間 検査完成後、検査が終了し（発注者の割合により検査が遅延した場合を除く。）、事務系統、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。 																																

㉕ 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置	労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名すること。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。																																						
2 仮設工事	1 騒音・粒じん等の対策 (2.1.3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ） ・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ） 																																					
	② 足場 (2.2.1)	<p>足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、両ガイドラインの別記「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>外部足場 ・ 設置する（設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない 防護シート ・ 設置する（設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない 内部足場 ○ 設置する（○ 脚立） ・ 設置しない</p>																																					
	(表2.2.1)	<p>材料、除去材等の運搬方法</p> <p>種別（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種） C種：利用可能なエレベーター（ ） D種：利用可能な階段（ ）</p>																																					
	3 既存部分の養生 (2.3.1)	<p>既存部分の養生 ・ 図示（図面番号： ） 既存プラインド・カーテンの養生 養生方法（ ） 保管場所 ・ 構内既存施設内 ・ （ ） 固定された部品、机、ロッカーの移動 ・ 行う ・ 行わない</p>																																					
	4 仮設間仕切り (2.2.2) (表2.3.1)	<p>壁内の仮設間仕切り ・ A種 ・ B種 ・ C種 合板 厚さ ・ 9mm ・ （ ） せこうボード 厚さ ・ 9.5mm ・ （ ） 合板又は石こうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない 仮設扉 ・ 設置箇所 ・ 図示（図面番号： ） 仕様 ・ 合板張り木扉扉 ・ （ ）</p>																																					
	5 監督員事務所 (2.4.1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構内建物内の一部を使用する。 ・ 設置する 監督員事務所の規模（単位：㎡） <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用規模</th> <th>10程度</th> <th>20程度</th> <th>35程度</th> <th>65程度</th> <th>100程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>監督員事務所の仕上げ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>部 位 等</td> <td colspan="5">仕 上 げ</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td colspan="5">合板張り又はビニールシート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁・天井</td> <td colspan="5">合板張り又はせこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗リ</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td colspan="5">鉄骨屋根のめっ張り板張り、又は鉄板張り、鋼合板シート張り</td> </tr> </tbody> </table>	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	監督員事務所の仕上げ						部 位 等	仕 上 げ					床	合板張り又はビニールシート張り					内壁・天井	合板張り又はせこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗リ					屋根	鉄骨屋根のめっ張り板張り、又は鉄板張り、鋼合板シート張り					
	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																	
	監督員事務所の仕上げ																																						
	部 位 等	仕 上 げ																																					
	床	合板張り又はビニールシート張り																																					
内壁・天井	合板張り又はせこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗リ																																						
屋根	鉄骨屋根のめっ張り板張り、又は鉄板張り、鋼合板シート張り																																						
6 監督員事務所の設備、構品等 (2.4.1)(2)(7)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>机・いす</th> <th>書棚</th> <th>黒板・白板</th> <th>掛時計</th> <th>温度計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>長靴</th> <th>雨合羽</th> <th>換気扇</th> <th>懐中電灯</th> <th>衣類ロッカー</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>消火器</th> <th>足除菌</th> <th>消 音</th> <th>受注者加入電話FAX</th> <th>冷暖房機器</th> <th>インターネット</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </tbody> </table>	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	個	個	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	換気扇	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	個	個	個	個	台	種類	消火器	足除菌	消 音	受注者加入電話FAX	冷暖房機器	インターネット	数量	個	個	個	台	台	台
種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																		
数量	個	個	個	個	個																																		
種類	長靴	雨合羽	換気扇	懐中電灯	衣類ロッカー																																		
数量	個	個	個	個	台																																		
種類	消火器	足除菌	消 音	受注者加入電話FAX	冷暖房機器	インターネット																																	
数量	個	個	個	台	台	台																																	
⑦ 仮設便所	構内既存の施設 ○ 利用できる ○ 利用できない																																						
⑧ 工事用水	構内既存の施設 ○ 利用できる（○ 有償 ・ 無償） ・ 利用できない																																						
⑨ 工事用電力	構内既存の施設 ○ 利用できる（○ 有償 ・ 無償） ・ 利用できない 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した日から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。																																						
⑩ 交通誘導要員	配置 ○ 図示（図面番号： A-06 ）																																						

特記	工事名 あやま保育所給食室改修工事	承認	管理建築士	印
	図名 改修工事特記仕様書（1）	期尺	図面番号 A-01	
		図面提出日	2022/01/19	

3 防水 改修 工事	1 アスファルト防水 (3.3.3) (表3.3.3)~ (表3.3.10)	<table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ P1B</td> <td>・ B-1</td> <td>・ B-2</td> <td>・ B-3</td> </tr> <tr> <td>・ P1E</td> <td>・ E-1</td> <td>・ E-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ P2E</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ () 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ ()</p> <p>断熱工法の断熱材 (P1B1, P2A1, T1B1, PDD1, MDD1, M4D1) 材質 ・ () ・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキヤあり) ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種 1号 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種 2号 厚さ ・ () ルーフトレン回り及び立上がり部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>脱気装置 (MD, POD, PDD1, M3D1, M4D1) ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ()) ・ 設けない ・ 仕上塗料 種類 () 使用量 ()</p> <p>保護コンクリートの厚さ 全て仕上げ ・ 水下80mm以上 ・ () 床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・ ()</p> <p>全て仕上げの場合のコンクリートの平たんさ ・ a種 ・ b種 ・ c種 保護層 ・ 設ける ・ 設けない 屋上排水溝の適用 ・ 適用する 立上り保護 ・ 乾式保護材 () ・ コンクリート押入 れんが (材質 ・ JIS R1250) ・ モルタル押入</p>	工法	種別	種別	施工箇所	・ P1B	・ B-1	・ B-2	・ B-3	・ P1E	・ E-1	・ E-2		・ P2E			
	工法	種別	種別	施工箇所														
	・ P1B	・ B-1	・ B-2	・ B-3														
	・ P1E	・ E-1	・ E-2															
	・ P2E																	
	(3.3.3)(2)(f) (3.3.3)(3)	脱気装置 (MD, POD, PDD1, M3D1, M4D1) ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ()) ・ 設けない ・ 仕上塗料 種類 () 使用量 ()																
	(3.3.5)	保護コンクリートの厚さ 全て仕上げ ・ 水下80mm以上 ・ () 床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・ ()																
	(表3.1.5)	全て仕上げの場合のコンクリートの平たんさ ・ a種 ・ b種 ・ c種 保護層 ・ 設ける ・ 設けない 屋上排水溝の適用 ・ 適用する 立上り保護 ・ 乾式保護材 () ・ コンクリート押入 れんが (材質 ・ JIS R1250) ・ モルタル押入																
	2 改質アスファルトシート防水 (3.4.2)	改質アスファルトシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ () 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ () 断熱工法の断熱材 (M4S1, M4S1, P4S1) 材質、厚さ () 図示 ・ () <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>・ M4S</td> <td>・ AS-T1</td> <td>・ AS-T2</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ AS-J2</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ()) ・ 設けない</p>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	・ M4S	・ AS-T1	・ AS-T2			・ AS-J2						
	工法	種別	施工箇所	仕上塗料														
・ M4S	・ AS-T1	・ AS-T2																
	・ AS-J2																	
(3.4.3) (表3.4.1)~ (表3.4.3)	脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ()) ・ 設けない																	
3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.2)	ルーフィングシート 種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)~(表3.5.3)による ・ () 厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)~(表3.5.3)による ・ () 絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示 () 断熱工法の断熱材 (P4S1, S4S1, S3S1, M4S1) 材質、厚さ () 図示 () <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>・ S3S</td> <td>・ S-F1 (S1-F1)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ S3S1</td> <td>・ S-F2 (S1-F2)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ()) ・ 設けない</p>	工法	種別	種別	仕上塗料	・ S3S	・ S-F1 (S1-F1)			・ S3S1	・ S-F2 (S1-F2)							
工法	種別	種別	仕上塗料															
・ S3S	・ S-F1 (S1-F1)																	
・ S3S1	・ S-F2 (S1-F2)																	
(3.5.3) (表3.5.1)~ (表3.5.3)	脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ()) ・ 設けない																	
(3.5.4)	既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合 目地処理 ・ 図示 (図面番号:) 増張り ・ 図示 (図面番号:) 保護層の施工 ・ 図示 (図面番号:)																	
4 塗膜張り (3.6.3) (表3.6.1) (3.6.3)(1)	<table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>・ PDX</td> <td>・ X-1</td> <td>・ X-2</td> <td>P12: 屋上、バルコニー、階段室</td> </tr> <tr> <td>・ L4X</td> <td></td> <td></td> <td>製造所の仕様による (屋上: トップコート断熱仕様)</td> </tr> </table> <p>脱気装置 ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: A008), 材質 (ステン)) ・ 設けない</p>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	・ PDX	・ X-1	・ X-2	P12: 屋上、バルコニー、階段室	・ L4X			製造所の仕様による (屋上: トップコート断熱仕様)					
工法	種別	施工箇所	仕上塗料															
・ PDX	・ X-1	・ X-2	P12: 屋上、バルコニー、階段室															
・ L4X			製造所の仕様による (屋上: トップコート断熱仕様)															
(3.6.3)(2)	<table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ P1V</td> <td>・ Y-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ P2V</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>保護層 ・ 図示 (図面番号:)</p>	工法	種別	施工箇所	・ P1V	・ Y-2		・ P2V										
工法	種別	施工箇所																
・ P1V	・ Y-2																	
・ P2V																		

5 既存防水層表面の仕上後の除去 (3.2.6)(3)(f) (3.2.6)(3)(g)	5 既存防水層表面の仕上後の除去 (3.2.6)(3)(f) (3.2.6)(3)(g)	(MAS, M4S1, M4C, M4D1) ・ 行う ・ 行わない (L4X) ・ 行う ・ 行わない																				
	⑥ シーリング (3.7.2) (表3.7.1)	<p>材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>ガラス</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○ S1-1</td> <td>シリコン系</td> <td>ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ S2-2</td> <td>変質シリコン系</td> <td>ガラス割り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ PS-2</td> <td>ポリサルファイド系</td> <td>打掃目地、誘発目地</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ PU-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td>外壁</td> <td></td> </tr> </table> <p>工法 ○ シーリング充填工法 ○ シーリング再充填工法 ○ 拡張シーリング再充填工法 ○ ブリッジ工法</p> <p>シーリング材の試験 ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ○ 行わない</p>	種類	材種	ガラス	施工箇所	○ S1-1	シリコン系	ガラス		○ S2-2	変質シリコン系	ガラス割り		○ PS-2	ポリサルファイド系	打掃目地、誘発目地		○ PU-2	ポリウレタン系	外壁	
	種類	材種	ガラス	施工箇所																		
	○ S1-1	シリコン系	ガラス																			
	○ S2-2	変質シリコン系	ガラス割り																			
	○ PS-2	ポリサルファイド系	打掃目地、誘発目地																			
	○ PU-2	ポリウレタン系	外壁																			
	(3.7.4)~(7)	シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 拡張シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法																				
	(3.7.8)	シーリング材の試験 ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ○ 行わない																				
	7 とい (3.8.2) (表3.8.1) (表3.8.2)	材質 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ 配管用鋼管 (白管) とい安全物及び足金物																				
8 アルミニウム部材 (3.9.2)(g) (表3.9.1)	部材の種類 ・ 押出し250形 ・ 押出し300形 ・ 押出し350形 ・ 板材折曲げ形 (本体幅 () mm、板厚 ・ 2.0mm ())																					
(3.9.3)(2) (3.9.3)(3)	固定金具の間隔 (mm) 固定方法 ・ () 表面処理 ・ () 工法 既存窓木等の撤去 ・ 図示 (図面番号:) 下地補修の工法 ・ 図示 (図面番号:) 板材折曲げ形の窓木の取付方法 ・ 図示 (図面番号:) 窓木固定金具の工法 ・ 図示 (図面番号:) 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。																					
9 保証書	<table border="1"> <tr> <th>工事区分</th> <th>材料名</th> <th>保証年数</th> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>・ 蓄積防水</td> <td>・ 10年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ FRP防水</td> <td>・ 10年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ シーリング</td> <td>・ 5年</td> </tr> </table>	工事区分	材料名	保証年数	防水工事	・ 蓄積防水	・ 10年		・ FRP防水	・ 10年		・ シーリング	・ 5年									
工事区分	材料名	保証年数																				
防水工事	・ 蓄積防水	・ 10年																				
	・ FRP防水	・ 10年																				
	・ シーリング	・ 5年																				

4 外壁 改修 工事	1 施工数量調査	・ 行う ・ 行わない 調査範囲 ・ 全面 () 調査項目 ・ ひび割れ部 (幅0.2mm ~ 0.2mm~1.0mm ・ 1.0mm以上) ・ ほがれ及びはく落部分 ・ 浮き部 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ) 報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)																		
	2 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)	<table border="1"> <tr> <th>外壁</th> <th>種類</th> <th>改修工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ コンクリート打放し仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ (充填工法) ・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ モルタル塗り仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ アーカーペンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーペンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ タイル張り仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ タイル張替え工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ タイル張替え工法 ・ アンカーペンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーペンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法 ・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう部改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗材塗り ・ マスチック塗材塗り ・ 外壁用遮断防水材塗り</td> </tr> </table>	外壁	種類	改修工法	・ コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ (充填工法) ・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	欠損部	・ アーカーペンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーペンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ タイル張替え工法	欠損部	・ タイル張替え工法 ・ アンカーペンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーペンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法 ・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう部改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗材塗り ・ マスチック塗材塗り ・ 外壁用遮断防水材塗り
	外壁	種類	改修工法																	
	・ コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																	
		欠損部	・ (充填工法) ・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																	
	・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																	
		欠損部	・ アーカーペンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーペンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																	
	・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ タイル張替え工法																	
		欠損部	・ タイル張替え工法 ・ アンカーペンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーペンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法 ・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう部改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗材塗り ・ マスチック塗材塗り ・ 外壁用遮断防水材塗り																	
	(4.1.4) (4.1.5)	・ 行う ・ 行わない 調査範囲 ・ 全面 () 調査項目 ・ ひび割れ部 (幅0.2mm ~ 0.2mm~1.0mm ・ 1.0mm以上) ・ ほがれ及びはく落部分 ・ 浮き部 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ) 報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)																		
(4.1.4) (4.1.5)	・ 行う ・ 行わない 調査範囲 ・ 全面 () 調査項目 ・ ひび割れ部 (幅0.2mm ~ 0.2mm~1.0mm ・ 1.0mm以上) ・ ほがれ及びはく落部分 ・ 浮き部 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ) 報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)																			
(4.1.4) (4.1.5)	・ 行う ・ 行わない 調査範囲 ・ 全面 () 調査項目 ・ ひび割れ部 (幅0.2mm ~ 0.2mm~1.0mm ・ 1.0mm以上) ・ ほがれ及びはく落部分 ・ 浮き部 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ) 報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)																			
(4.1.4) (4.1.5)	・ 行う ・ 行わない 調査範囲 ・ 全面 () 調査項目 ・ ひび割れ部 (幅0.2mm ~ 0.2mm~1.0mm ・ 1.0mm以上) ・ ほがれ及びはく落部分 ・ 浮き部 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ) 報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)																			
(4.1.4) (4.1.5)	・ 行う ・ 行わない 調査範囲 ・ 全面 () 調査項目 ・ ひび割れ部 (幅0.2mm ~ 0.2mm~1.0mm ・ 1.0mm以上) ・ ほがれ及びはく落部分 ・ 浮き部 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ) 報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)																			
(4.1.4) (4.1.5)	・ 行う ・ 行わない 調査範囲 ・ 全面 () 調査項目 ・ ひび割れ部 (幅0.2mm ~ 0.2mm~1.0mm ・ 1.0mm以上) ・ ほがれ及びはく落部分 ・ 浮き部 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ) 報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)																			

3 改修工法等 (4.2.2)(1) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)	3 改修工法等 (4.2.2)(1) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)	<p>樹脂注入工法 種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 () 注入量 () ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 () 注入量 () 注入口間隔 () ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 () 注入量 () 注入口間隔 () 材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築標準用注入エポキシ樹脂) ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 コア採取検査 ・ 行う ・ 行わない ・ 採取回数 () ・ 採取部分補修方法 ()</p> <p>リカットシール材充填工法 (4.3.5) 材料 ・ シーリング用材充填 (・ PU-1 ・ PU-2 ()) (4.4.6) (4.5.6) ・ 可とう性エポキシ樹脂充填 シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>シール工法 (4.3.6) 材料 ・ バテ状エポキシ樹脂 (4.4.7) ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>充填工法 (4.2.2)(4) (4.3.7) 材料 ・ エポキシ樹脂モルタル (4.4.8) ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法 (4.2.2)(7) (4.4.9) 材料 ・ 珪藻土合材料 ・ 既調合材料 ・ 珪藻土材の適用及び形状 () ・ 仕上げ厚 ()</p> <p>アンカーペンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4.4.10) アンカーピンの本数 ・ 標準 () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ()</p> <p>アンカーペンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4.4.11) アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ()</p> <p>アンカーペンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4.4.12) アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ()</p> <p>注入口付アンカーペンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4.4.13) 注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) () 呼び径 ・ 6mm ()</p> <p>注入口付アンカーペンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4.4.14) 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) () 呼び径 ・ 6mm ()</p> <p>注入口付アンカーペンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4.4.15) 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 () 材料 ・ ポリマーセメントスラリー () ・ 注入口付アンカーピン (ステンレス鋼 (SUS304)) () 呼び径 ・ 6mm ()</p> <p>タイル部分張替え工法 (4.5.7) 張替え材料 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 接着剤 (一液反応硬化型変成シリコン樹脂) ()</p>
	(4.2.2)(2) (4.3.5) (4.4.6) (4.5.6)	リカットシール材充填工法 (4.3.5) 材料 ・ シーリング用材充填 (・ PU-1 ・ PU-2 ()) (4.4.6) (4.5.6) ・ 可とう性エポキシ樹脂充填 シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填 ・ 行う ・ 行わない
	(4.2.2)(3) (4.3.6) (4.4.7)	シール工法 (4.3.6) 材料 ・ バテ状エポキシ樹脂 (4.4.7) ・ 可とう性エポキシ樹脂
	(4.2.2)(4) (4.3.7) (4.4.8)	充填工法 (4.2.2)(4) (4.3.7) 材料 ・ エポキシ樹脂モルタル (4.4.8) ・ ポリマーセメントモルタル
	(4.2.2)(7) (4.4.9)	モルタル塗替え工法 (4.2.2)(7) (4.4.9) 材料 ・ 珪藻土合材料 ・ 既調合材料 ・ 珪藻土材の適用及び形状 () ・ 仕上げ厚 ()
	(4.2.2)(5) (4.4.10) (表3.4.1)	アンカーペンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4.4.10) アンカーピンの本数 ・ 標準 () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ()
	(4.2.2)(6) (4.4.11) (表3.4.1)	アンカーペンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4.4.11) アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ()
	(4.2.2)(8) (4.4.12) (表3.4.1)	アンカーペンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4.4.12) アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ()
	(4.2.2)(9) (4.4.13) (表3.4.1)	注入口付アンカーペンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4.4.13) 注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) () 呼び径 ・ 6mm ()
	(4.2.2)(10) (4.4.14) (表3.4.1)	注入口付アンカーペンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4.4.14) 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) () 呼び径 ・ 6mm ()
(4.2.2)(11) (4.4.15) (表3.4.1)	注入口付アンカーペンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4.4.15) 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 () 材料 ・ ポリマーセメントスラリー () ・ 注入口付アンカーピン (ステンレス鋼 (SUS304)) () 呼び径 ・ 6mm ()	
(4.2.2)(12) (4.5.7)	タイル部分張替え工法 (4.5.7) 張替え材料 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 接着剤 (一液反応硬化型変成シリコン樹脂) ()	

施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無

タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)
・ 外装 タイル	小口以下二下掛け以下	・ 密着張り ・ 改良積み上げ張り	5~8 7~10
・ ユニットタイル	・ 25mm角を越え小口未満 ・ 小口未満	・ 改良積層張り ・ マスク張り	4~6 3~4
		・ モザイクタイル貼り	3~5

4 塗り仕上げ (4.2.2)(10) (表4.2.4(その1) (その2))	種 類	呼び名	仕上げ形状	工 法	
	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	吹付け	
			・ ゆず肌状	こて	
	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 凹凸状	ローラー	
			・ 砂壁状	吹付け	
			・ さざ波状	こて	
			・ ひき起し	こて	
			・ 掻き落とし	ローラー	
	複層仕上塗材	・ 外装厚塗材S1 ・ 外装厚塗材E	・ 吹放し	吹付け	
			・ 凸部処理	ローラー	
可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材E	・ ゆず肌状	ローラー		
		・ 凹凸状	吹付け		
(4.7.2) (表4.7.1) (表4.2.5)	・ 外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所量量 (kg/m ²) ・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種 複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類				
	樹脂種類	溶媒種類	外 観		
	・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ メタリック	
		・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無		
	・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無		
		・ 無機	・ 艶有 ・ 艶無		
	・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ メタリック	
		・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無		
	・ アクリル シリコン系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ メタリック	
		・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無		
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ メタリック		
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無			
(表4.2.6)	(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。				
	外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法				
	種 類	仕上げの形状	工 法		
	外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	吹付け		
		・ 凸部処理	ローラー		
		・ ゆず肌状			
	(4.6.3)	既存塗膜等の除去及び下地処理			
		工 法		処理範囲	
		・ サンダー工法			
		・ 高圧水洗工法			
・ 塗膜はく離剤工法					
・ 水洗い工法 (・ テッキブラシ ○ 高圧ポンプ) 外壁、壁下、庇、階段、巾木、バルコニー、軒天 等					
下地調整					
・ C-1 ・ C-2 ・ C#-2 ・ E ・ ()					
※軒天などの外装薄塗材Eについては、省略とする。					
5 建 具 改 修 工 事		① 改修工法	・ かぶせ工法 ・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法		
	2 防火戸	・ はつり工法 ・ 引抜き工法			
		・ 例示仕様 ・ 個別認定 (認定番号:) ・ 自動閉鎖機構 ・ 図示 (図面番号:)			
	3 見本の製作	・ 製作する ・ 製作しない			
	4 防犯建物部品	・ 図示 (図面番号:)			
	5 ブランドボックス等	・ 再使用する ・ 再使用しない			
	6 アルミニウム製 建具	外部建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 枠の見込み寸法 70mm () ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ 結露の処理方法 ・ 図示 (図面番号:)			
		アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類 ・ 外部に面する建具 (過湿な環境の屋外) BA-1 ・ BA-2 () ・ 外部に面する建具 (一般的な環境の屋外) BB-1 ・ BB-2 () ・ 内部に面する建具 BC-1 ・ BC-2 ()			

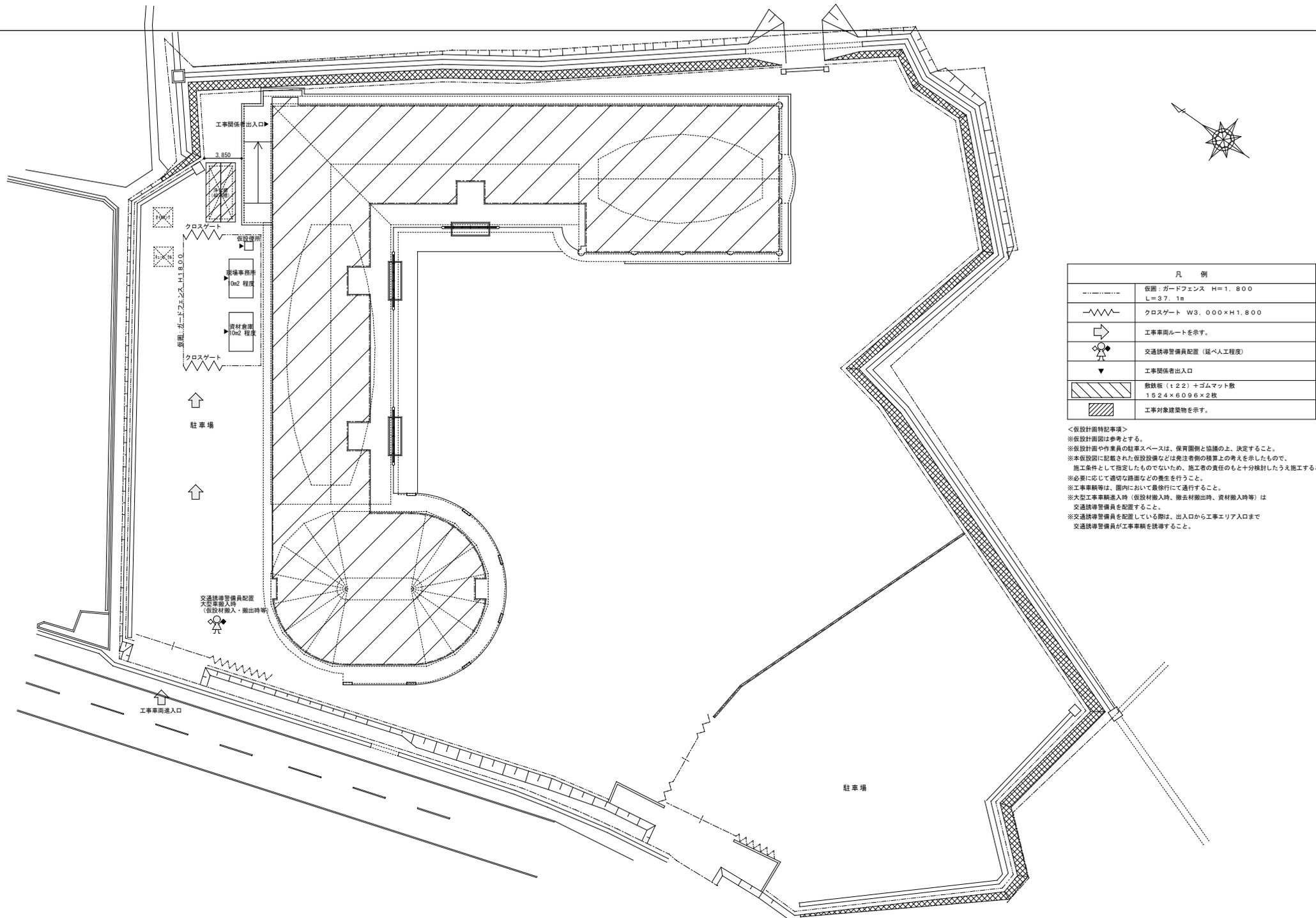
7 網戸	(5.2.3) (5)	・ 可動式 ・ 固定式 (5) 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ	
	8 樹脂製建具	(5.3.2)~(5.3.5) (表5.3.1)~ (表5.3.3)	外部に面する樹脂製建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ガラス 複層ガラス (等級) 建具枠長寸法 ・ 図示 (図面番号:) 水切り ・ 図示 (図面番号:) ぜんばん ・ 図示 (図面番号:) 丁番 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.3)による ・ 図示 (図面番号:)
		9 鋼製建具	(5.4.2)
	(5.4.4)		・ H2400又はH950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:)
	⑩ 鋼製軽量建具	(5.5.2)	鋼製軽量建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級)
		(5.5.3)	・ H2400又はH950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:)
		(5.5.4)	表面仕上げ ・ 塗装 ・ ニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面) ()
		(5.5.5)	ステンレス製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級)
		(5.5.6)	材料 ・ SUS304 ()
		(5.5.7)	表面仕上げ ・ HL仕上げ ()
(5.5.8)		曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ	
11 ステンレス製 建具		(5.6.2)	食物の見え掛り部等の材質等 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.1)による ・ 図示 (図面番号:)
		(5.6.3)	マスターキー ・ 製作する ○ 製作しない 引換用箱 ・ 必要 ○ 不要 ○
12 建具用食物		(5.7.2)	駆動装置及び検出装置の性能等級 (・ 多機能トイレ出入口) ・ 図示 (図面番号:)
	(5.7.4)	引き戸検出装置の種類 ・ 図示 (図面番号:)	
13 自動ドア閉 装置	(5.8.2)	凍結防止措置 ・ あり ・ なし	
	(5.8.3) (7)	自閉式上吊り引戸装置の性能等級 ・ 改修標準仕様書 (表5.9.1)による ()	
14 自閉式上吊り 引戸装置	(5.9.3)	種類 ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防風シャッター	
	(5.10.2)	耐風圧強度 (Pa以上) 開閉機能 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式	
15 重量シャッター	(5.10.1)	一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ()	
	(5.10.2) (3) (表5.10.1)	開閉形式 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式 耐風圧強度 (Pa以上) スラットの材質及び形状 ・ インターロック型 ・ オーパーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 () ・ JIS G 3322 ・ A230 ()	
16 軽量シャッター	(5.11.2)	開閉形式 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式 耐風圧強度 (Pa以上) スラットの材質及び形状 ・ インターロック型 ・ オーパーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 () ・ JIS G 3322 ・ A230 ()	
	(5.11.4)	開閉形式 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式 耐風圧強度 (Pa以上) スラットの材質及び形状 ・ インターロック型 ・ オーパーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 () ・ JIS G 3322 ・ A230 ()	

17 オーバーヘッド ドア	(5.12.2)	型式及び機構 セクシオン材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧強度 (Pa以上) 開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形																																			
	18 板ガラス	(5.13.2) (1) (5.13.4)	ガイドレール ・ 溶融鋳めつき鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ 図示 (図面番号:)																																		
		19 ガラス締め材	(5.13.2) (2)	・ シーリング ・ ガスケット ()																																	
	20 ガラス清の寸法、 形状等	(5.13.3)	・ 図示 (図面番号:) ・ 建具の製造所の仕様による																																		
		21 ガラスブロック 積み	(5.13.5)	ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:) 金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:) 化粧カバー ・ 図示 (図面番号:) 工法 ・ 図示 (図面番号:) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。																																	
	6 内 装 改 修 工 事	1 一般事項	(6.1.3) (2)	既存開口切替の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 改修部分 改 修 範 囲 ・ 天井 ・ 図示 (図面番号:) ・ 壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ 床 ・ 図示 (図面番号:)																																	
		(6.1.3) (3)	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ・ 図示 (図面番号:)																																		
		(6.1.3) (5)	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・ 図示 (図面番号:)																																		
		② 既存床撤去、下 地補修	(6.2.1) (1) (7)	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの除去 ・ 行う ・ 行わない																																	
			(6.2.2) (1) (4)	合成樹脂塗りで床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ○ 目直し工法																																	
(6.2.2) (3)		改修後の床の清掃範囲 ○ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ()																																			
3 既存壁撤去、下 地補修		(6.3.2)	既存開口切替の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ()																																		
4 木下地等		(6.5.1) (3) (表6.5.1) (表6.5.2)	表面仕上げ 機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種 手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比)																																		
		(6.5.2) (1) (4) (表6.5.3)	部材名称 種 別 下地材 ・ A種 ・ B種 造作材 ・ A種 ・ B種																																		
(6.5.2) (2) (7)		製材 「製材の日本農林規格」による製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地用</td> <td>・ 図示</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>針葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>造作用</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>針葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table>	部 位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質	下地用	・ 図示	()	()	()	()	針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	()	()	()	()	造作用	・ 図示 (図面番号:)	()	()	()	()	針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	()	()	()	()	広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	()	()	()
部 位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質																																
下地用	・ 図示	()	()	()	()																																
針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	()	()	()	()																																
造作用	・ 図示 (図面番号:)	()	()	()	()																																
針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	()	()	()	()																																
広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	()	()	()	()																																
(6.5.2) (2) (4) (6.5.2) (2) (9) (表6.5.4)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示 (図面番号: A020, A021) 造作材の材面の品質 ・ A種 () 樹種 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>集 産 材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床見切り</td> <td>杉</td> <td>三重県産材</td> </tr> <tr> <td>巾木</td> <td>杉</td> <td>三重県産材</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	部 位	樹 種	集 産 材	床見切り	杉	三重県産材	巾木	杉	三重県産材																											
部 位	樹 種	集 産 材																																			
床見切り	杉	三重県産材																																			
巾木	杉	三重県産材																																			
(6.5.2) (3) (7)	造作用集材材 「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>品 名・樹 種</th> <th>見付け材面の寸法・品質・数</th> <th>厚 さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造作用集材材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>造作用</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>集材材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>造作用集材材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table>	部 位	品 名・樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚 さ	造作用集材材	・ 図示 (図面番号:)	()	()	造作用	・ 図示 (図面番号:)	()	()	化粧ばり造作用	・ 図示 (図面番号:)	()	()	集材材	・ 図示 (図面番号:)	()	()	化粧ばり造作用	・ 図示 (図面番号:)	()	()	造作用集材材	・ 図示 (図面番号:)	()	()								
部 位	品 名・樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚 さ																																		
造作用集材材	・ 図示 (図面番号:)	()	()																																		
造作用	・ 図示 (図面番号:)	()	()																																		
化粧ばり造作用	・ 図示 (図面番号:)	()	()																																		
集材材	・ 図示 (図面番号:)	()	()																																		
化粧ばり造作用	・ 図示 (図面番号:)	()	()																																		
造作用集材材	・ 図示 (図面番号:)	()	()																																		
※三重県産材を使用すること。																																					



伊賀市

特記	工事名	あやま保育所給食室改修工事		承認	管理建築士	印
	図名	縮尺 A1 : 1/1775 A3 : 1/2500	図面番号 A-05	図面提出日	2022/01/19	



凡 例	
	仮囲い：ガードフェンス H=1,800 L=37.1m
	クロスゲート W3,000×H1,800
	工事車両ルートを示す。
	交通誘導警備員配置 (延べ人工程度)
	工事関係者出入口
	敷鉄板 (t22) + ゴムマット敷 1,524 × 6,096 × 2枚
	工事対象建築物を示す。

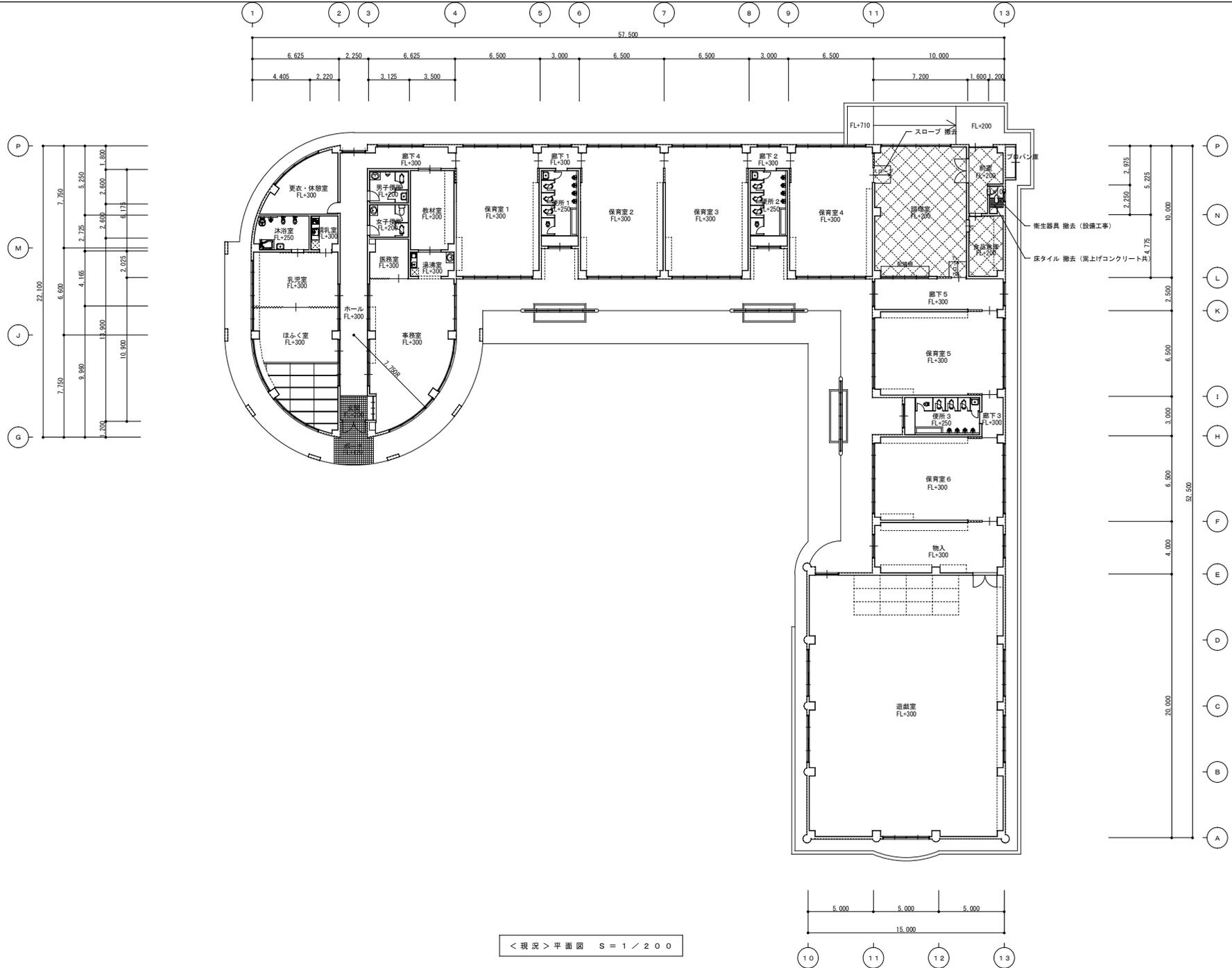
<仮設計画特記事項>
 ※仮設計画は参考とする。
 ※仮設計画や作業員の駐車スペースは、保育園側と協議の上、決定すること。
 ※本仮設計画に記載された仮設設備などは発注者側の構築上の考えを示したもので、
 施工条件として指定したものでないため、施工者の責任のもと十分検討したうえ施工すること。
 ※必要に応じて適切な踏面などの養生を行うこと。
 ※工事車両等は、園内において員徐行にて通行すること。
 ※大型工事車両進入時 (仮設材搬入時、撤去材搬出時、資材搬入時等) は
 交通誘導警備員を配置すること。
 ※交通誘導警備員を配置している際は、出入口から工事エリア入口まで
 交通誘導警備員が工事車両を誘導すること。

特記	工事名	あやま保育所給食室改修工事		承認	管理建築士	印
	図名	配置図・仮設計画図 (参考)	縮尺 A2 : 1/250 A3 : 1/352	図面番号	A-06	
				図面提出日	2022/01/19	

工事概要		※ () 内寸法は平均GLからの高さを示す。 ●印は本工事に該当												
工事名称	あやま保育所給食室改修工事													
	地名地番	三重県伊賀市馬場1090-2												
	敷地面積	7190.39 m ²												
	都市計画	●都市計画区域内												
		○市街化区域 ○市街化調整区域 ●区域区分未設定都市計画区域												
		○準都市計画区域内 ○都市計画及び準都市計画区域外												
	用途地域	○第1種低層住居専用地域 ○第2種低層住居専用地域 ○第1種中高層住居専用地域												
		○第2種中高層住居専用地域 ○第1種住居地域 ○第2種住居地域 ○準住居地域 ○近隣商業地域												
	防火地域	○防火地域 ○準防火地域 ○指定無し ●2条指定地域												
	基準建ぺい率 (%)	○30 ○40 ○50 ●60 ○70 ○80												
基準容積率 (%)	○50 ○60 ○80 ○100 ○150 ●200 ○300 ○400 ○500 ○600													
道路・壁面後退	●主前面道路 (9.30m) ○その他前面道路 (m)													
	○都市計画道路 (○有 m ○無) ○壁面後退 (○有 m ○無)													
設備工事	給排水衛生設備工事	設備図参照												
	電気設備工事	設備図参照												
	消防設備工事	設備図参照												
	空調設備工事	設備図参照												
	昇降機設備工事													
主要用途	保育園													
	工事種別	○新築 ○増築 ○改築 ○移転 ○用途変更 ○大規模の修繕 ○大規模の模様替 ●既存改修												
		建築面積	1. 保育園		1226.62m ²									
			合 計		1226.62m ²									
			延床面積	1. 保育園		1486.10m ²								
				合 計		1486.10m ²								
				建ぺい率	建ぺい率算定建築面積		1226.62m ²							
					容積率算定床面積		1486.10m ²							
					合 計		20.66%							
					棟別概要	棟 名		1. 保育園						
用 途						保育園								
工事種別						○新築 ○増築 ○改築 ●既存改修								
階 数		地上1階、地下0階、塔屋0階												
構 造		○SRC ●RC ●S ○CB ○W												
最高の高さ		設計GL+10.00m () m												
最高の軒高		設計GL+8.63m () m												
建築面積		1226.62m ²												
床面積		1階 1486.10m ²												
合 計		1486.10m ²												
棟 名														
用 途														
工事種別														
階 数														
最高の高さ														
最高の軒高														
建築面積														
床面積														

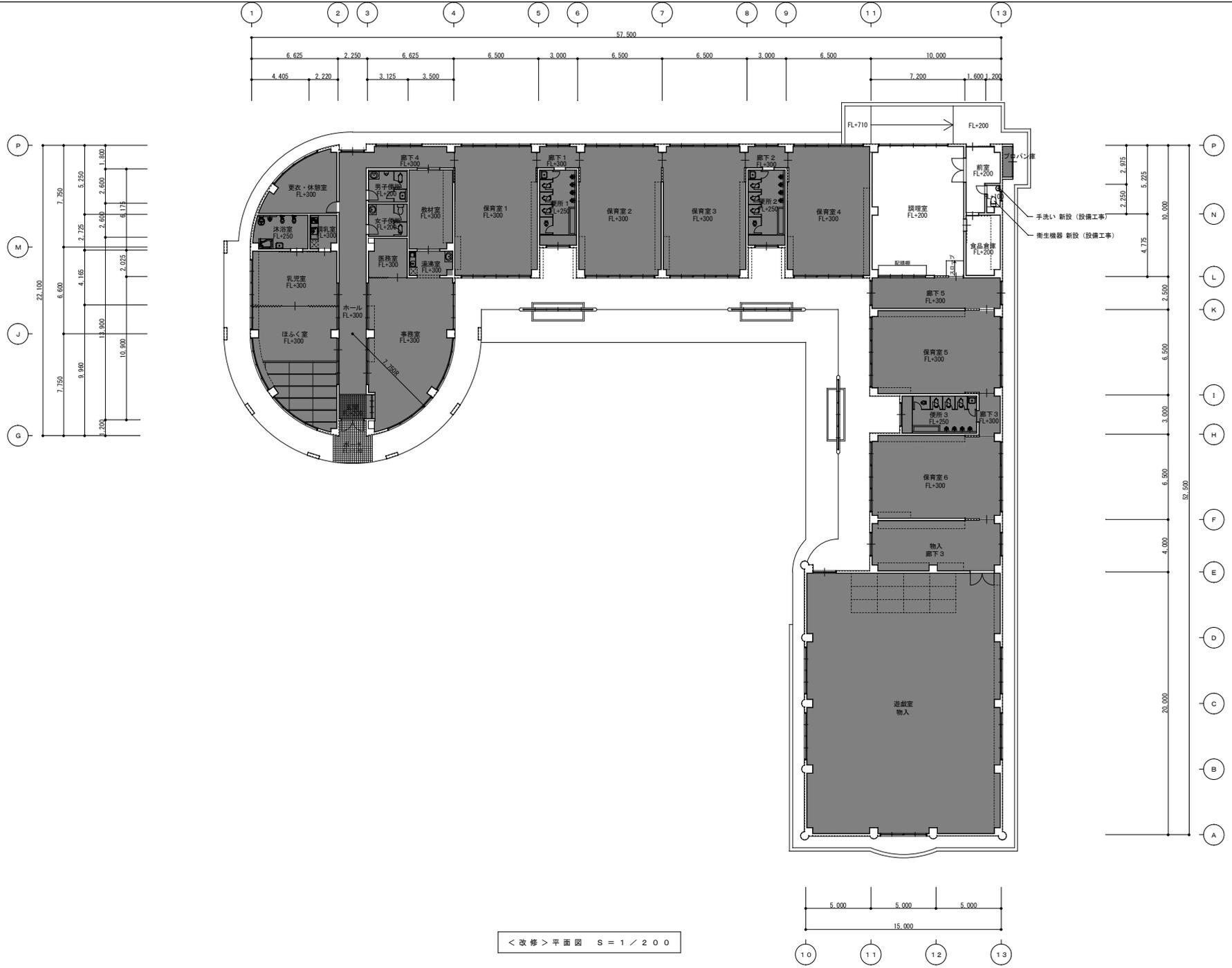
内 部 仕 上 表 (材料は全て同等品とする。)														
F	室 名	現況 改修後	内装制限	法的規制 居室種別	床	巾 木	H	腰 壁	H	壁	天 井	天 井 高	廻 縁	備 考
1	調理室	現況	準不燃	自然排煙 下地	スラブコンクリート 厚150 一部撤去 業上げコンクリート 一部撤去	-	-	-	-	モルタル金ゴテ押え	LGS	3015	塩ビ製	排水ピット 設備工事: 換気扇 撤去、空調機器 撤去、厨房機器 移設
	調理室	改修後	準不燃	居室 仕上	合成樹脂塗床	-	-	CB 厚100、モルタル	400 1000	既存のまま 建具撤去跡: LGS、耐水PB 厚12.5 水洗い 100角タイル	-	3015	既存のまま	排水ピット: 内部下地調整、合成樹脂塗床 (平滑工法) 面台: SUS HL 厚1.5 曲げ加工 設備工事: 換気扇、空調機器、厨房機器、手洗い
	前室	現況	不燃	告四二(2) 下地	スラブコンクリート	-	-	CB 厚100	1000	-	LGS	2500	塩ビ製	面台: SUS 厚1.5
	前室	改修後	不燃	非居室 仕上	合成樹脂塗床	モルタル金ゴテ押え AEP塗	100	-	-	モルタル金ゴテ押え、ラフン吹付	ケイカル板 厚6 目透かし張、EP塗	2500	既存のまま	面台: 既存のまま
	便所	現況	不燃	告四二(2) 下地	業上げコンクリート、モルタル 撤去	-	-	-	-	モルタル金ゴテ押え	LGS	2600	塩ビ製	面台: SUS 厚1.5、床免切 撤去 設備工事: 衛生器具 撤去
	便所	改修後	不燃	告四二(2) 下地	下地調整	-	-	-	-	既存のまま 一部 建具袖部 EP塗	-	2600	既存のまま	面台: 既存のまま 設備工事: 衛生器具、手洗い
	食品倉庫	現況	不燃	告四二(2) 下地	スラブコンクリート	-	-	-	-	-	LGS	2500	塩ビ製	棚
	食品倉庫	改修後	不燃	非居室 仕上	合成樹脂塗床	モルタル金ゴテ押え AEP塗	100	-	-	モルタル金ゴテ押え、ラフン吹付	ケイカル板 厚6 目透かし張、EP塗	2500	既存のまま	
	保育室4	現況	難燃	自然排煙 下地	モルタル金ゴテ押え	-	-	-	-	モルタル金ゴテ押え	LGS	2015	塩ビ製	幼児ロッカー、掲示板、ホワイトボード
	保育室4	改修後	難燃	居室 仕上	長尺塩ビシート	ソフト巾木	100	-	-	ラフン吹付	ジブトーン 厚9.5	2015	既存のまま	
	保育室4	現況	難燃	自然排煙 下地	既存のまま	-	-	-	-	既存のまま 建具撤去跡: LGS50、強化石膏ボード 厚21二重張	既存のまま	2015	既存のまま	
	保育室4	改修後	難燃	居室 仕上	既存のまま	ソフト巾木	100	-	-	既存のまま 建具撤去跡: ラフン吹付 (EP-T)	既存のまま	2015	既存のまま	

特 記	工事名 あやま保育所給食室改修工事				承認		管理建築士	印
	図名	図尺	図番	図面番号	A-07		図面提出日	2022/01/19



< 現況 > 平面図 S = 1 / 200

特記	<p>..... 改修範囲を示す。</p> <p>※調理室の厨房機器については設備図参照</p>	<p>工事名 あやま保育所給食室改修工事</p>	<p>縮尺 A 2 : 1 / 200 A 3 : 1 / 282</p>	<p>図面番号 A - 08</p>	<p>承認</p>	<p>管理建築士</p>	<p>印</p>
	<p>図名 < 現況 > 平面図</p>	<p>図番</p>	<p>図号</p>	<p>図名</p>	<p>図番</p>	<p>図号</p>	<p>図名</p>
<p>図面提出日</p>					<p>2022/01/19</p>		



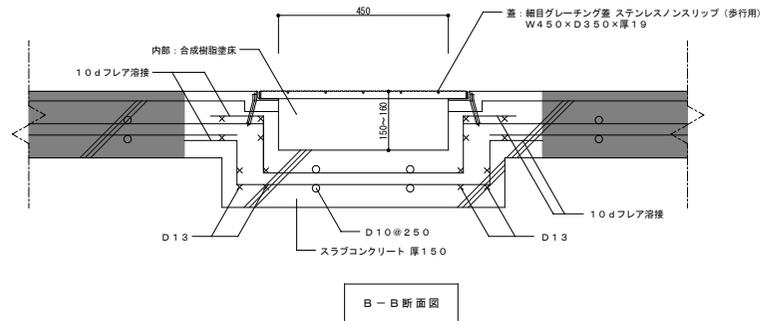
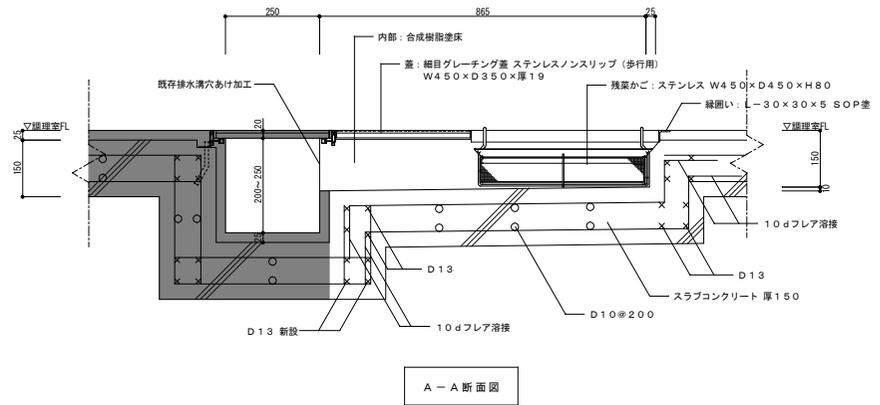
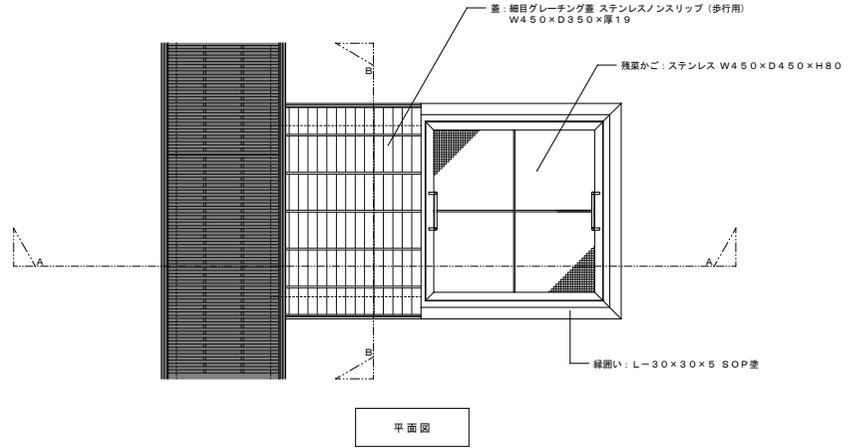
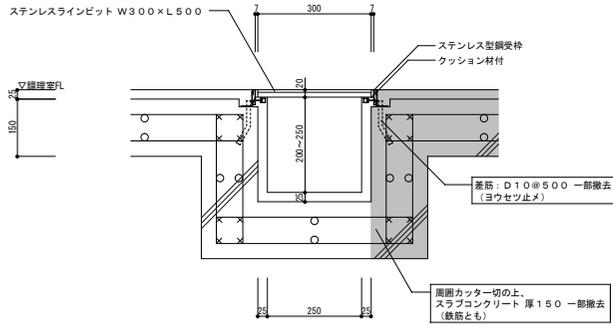
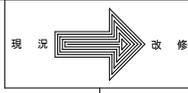
< 改修 > 平面図 S = 1 / 200

特記 ・・・既存のまま範囲を示す。 ※調理室の厨房機器については設備図参照	工事名 あやま保育所給食室改修工事	承認	管理建築士	印
	図名 < 改修 > 平面図	縮尺 A2 : 1 / 200 A3 : 1 / 282	図面番号 A-09	図面提出日 2022/01/19

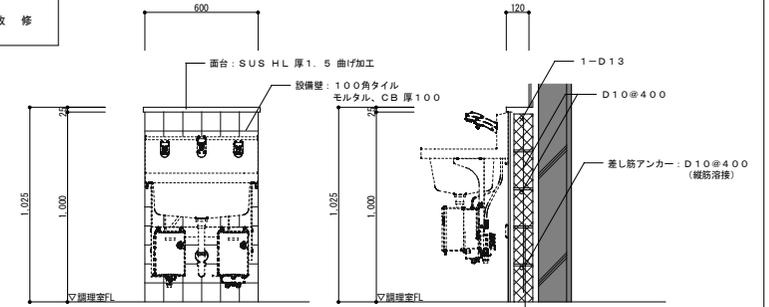
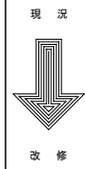
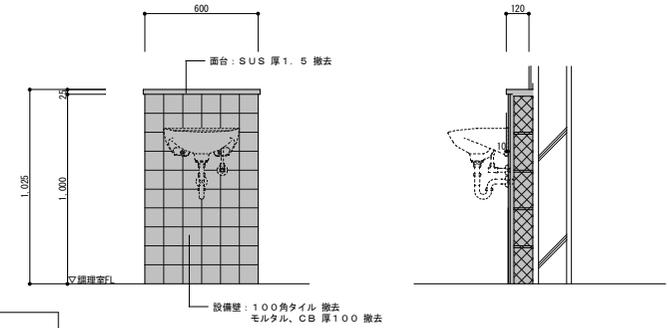
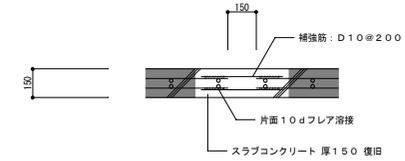
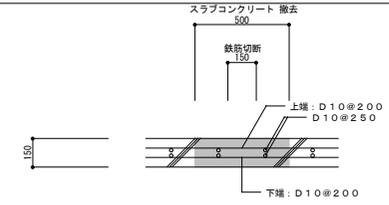
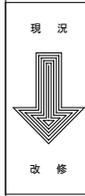
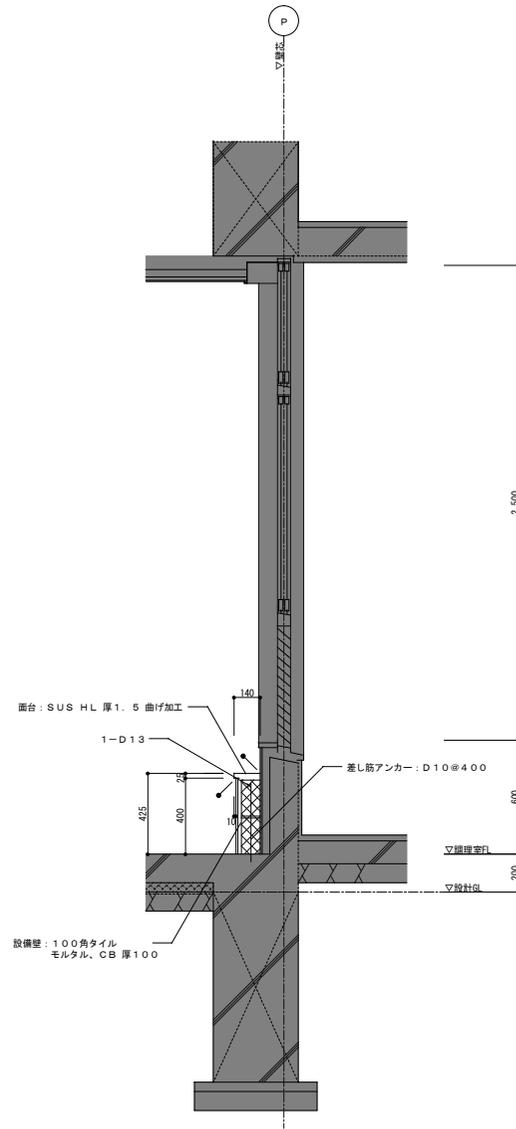
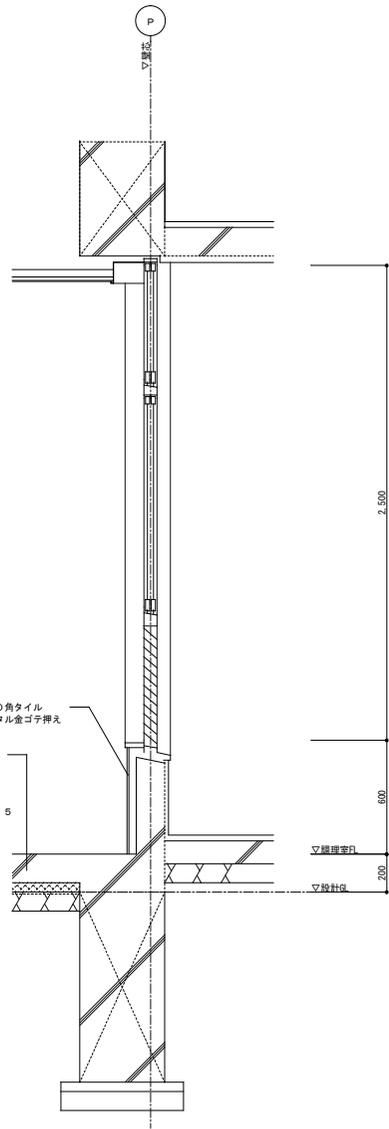
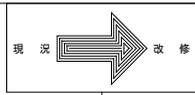
回転蓋 ビット詳細図

A2 = 1 / 10
A4 = 1 / 20

※既存のビット廻り配筋については想定となるため、施工前に確認をし、監理者と相談の上、施工を行うこと。
※復旧時に溶接可能な長さの鉄筋を残すこと。



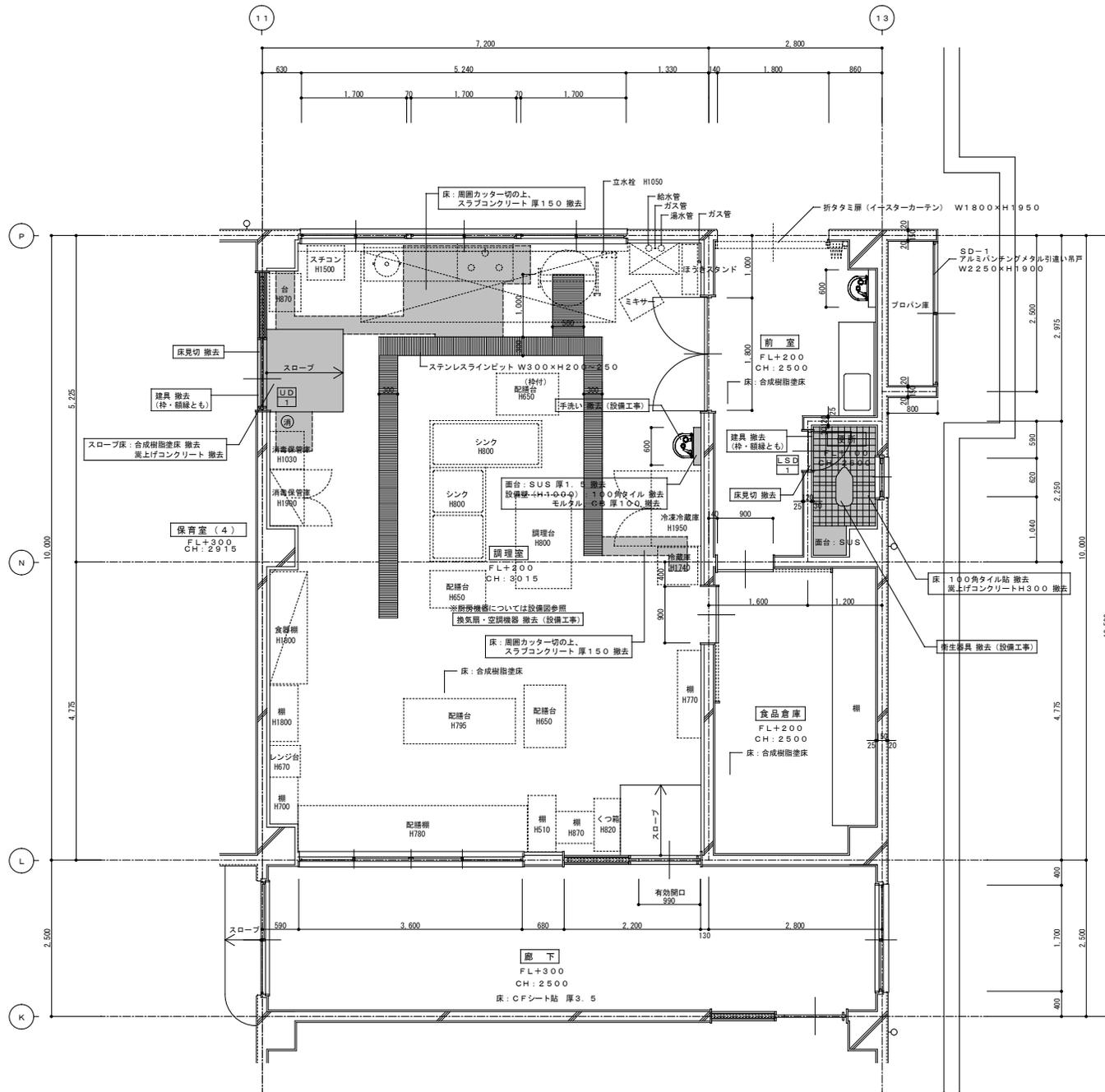
特記	床除去範囲	工事名 あやま保育所給食室改修工事	編尺 A2: 図示 A3: 図示×7.1%	図面番号 A-10	承認	管理建築士	印
	既存のまま範囲						
		部 分 詳 細 図 1			図面提出日 2022/01/19		



特記	床・壁撤去範囲
	既存のまま範囲
	シーリング打ち

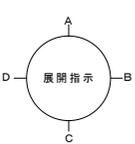
工事名	あやま保育所給食室改修工事		
図名	部分詳細図 2	縮尺	A 2 : 1 / 2 0 A 3 : 1 / 2 8
		図番	A - 1 1

承認	管理建築士	印
図番提出日	2022/01/19	

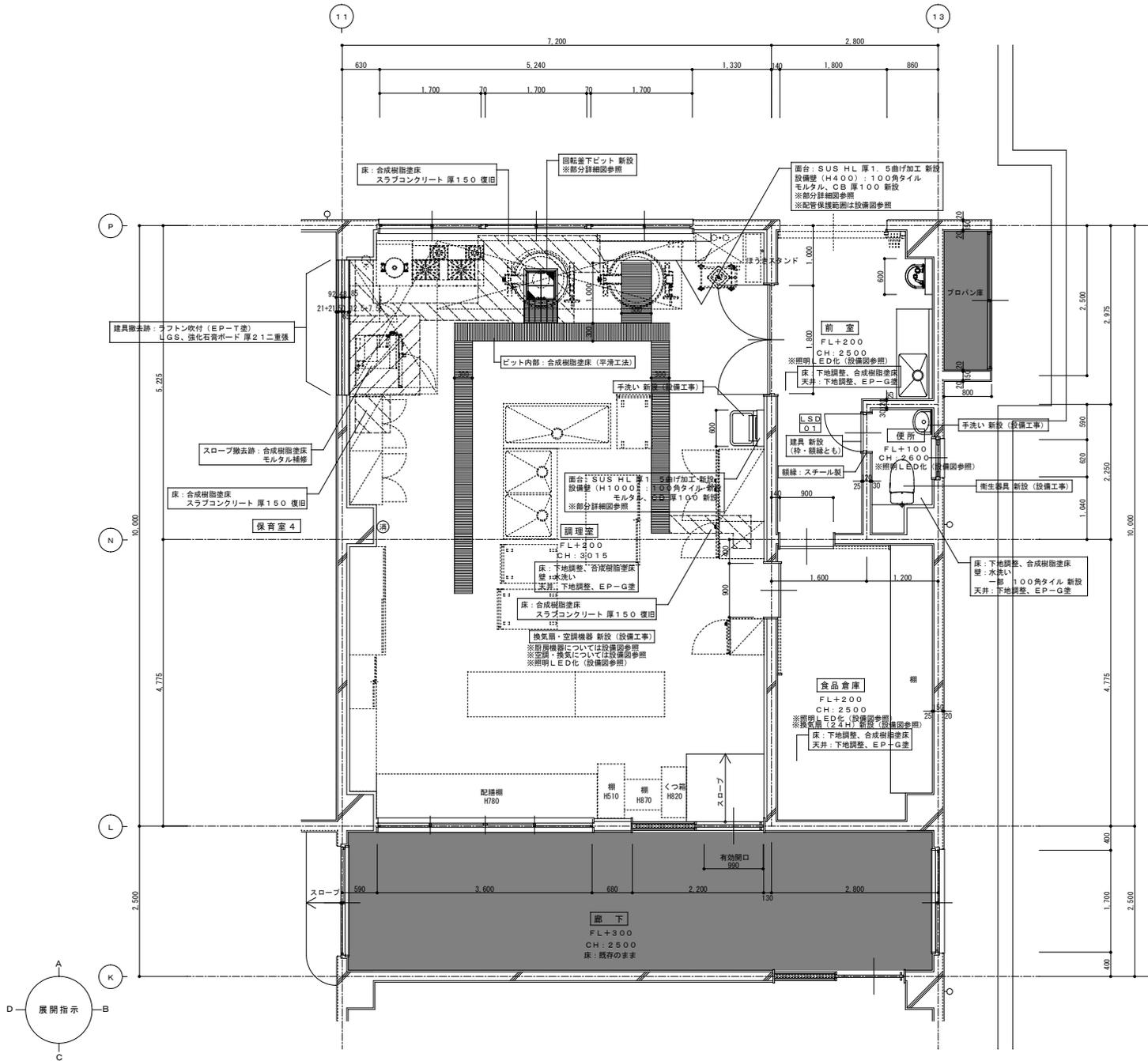


既存建具表 ※図面はすべて内観図とする。

記号	数量	UD-1	撤去	調理室	1ヶ所	1/50
案内						
建具			ユニット片引きドア		見込	130
仕上			焼付塗装鋼板 厚0.6			
硝子			-			
金物			シリランダー錠、ステンレスパー 付属金物一式			
備考						
記号	数量	LSQ-1	撤去	便所	1ヶ所	1/50
案内						
建具			片開きフラッシュドア		見込	86
仕上			焼付塗装鋼板 厚0.6			
硝子			-			
金物			表示錠(サムターン)、レバーハンドル、ドアチェック、ピボットヒンジ、スチール額縁 付属金物一式			
備考						



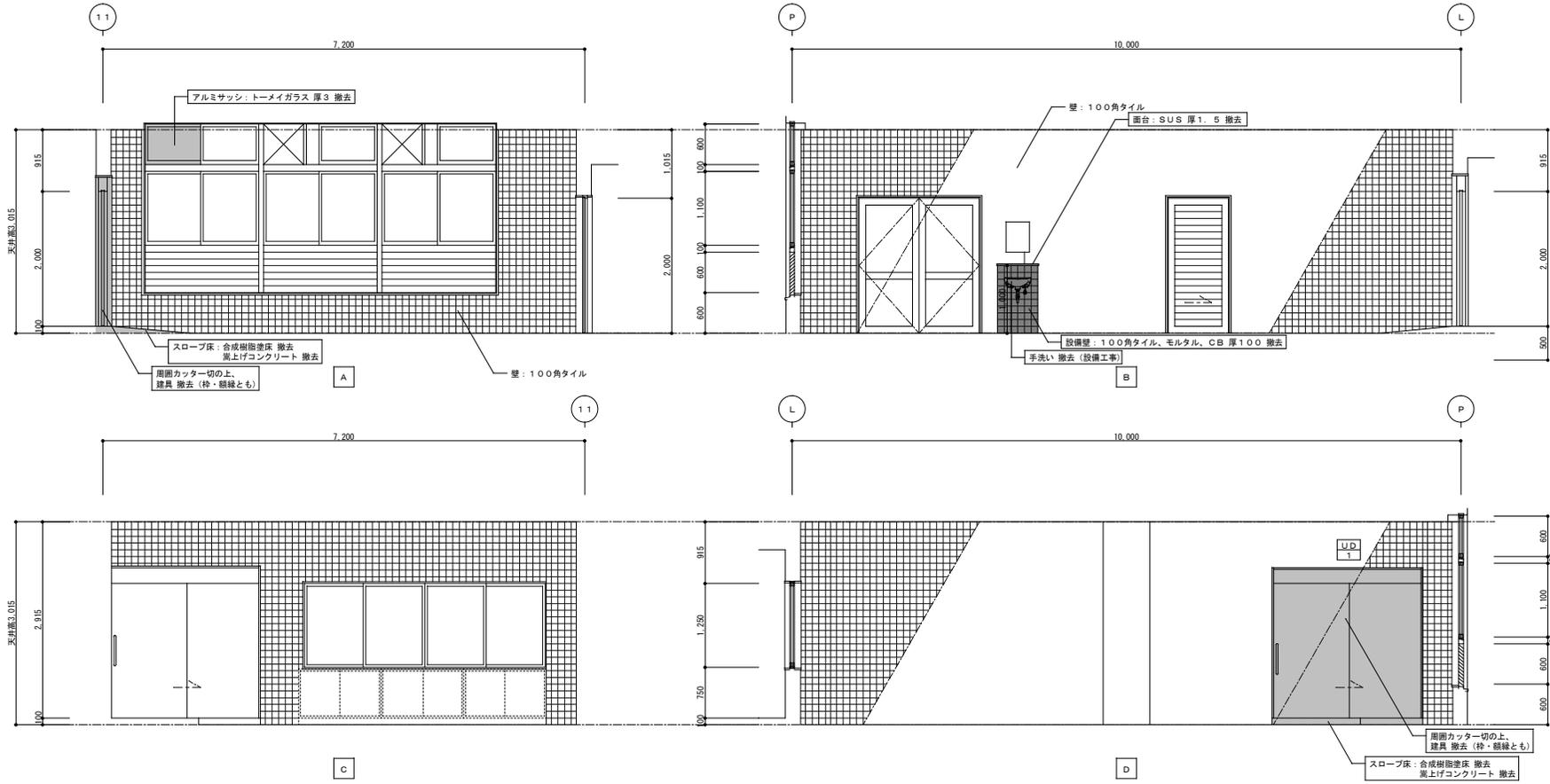
特記	床・壁撤去範囲	工事名	あやま保育所給食室改修工事			承認	管理建築士	印
		図名	<現況>調理室平面詳細図	縮尺	A2: 1/50 A3: 1/71	図面番号	A-12	
						図面提出日	2022/01/19	



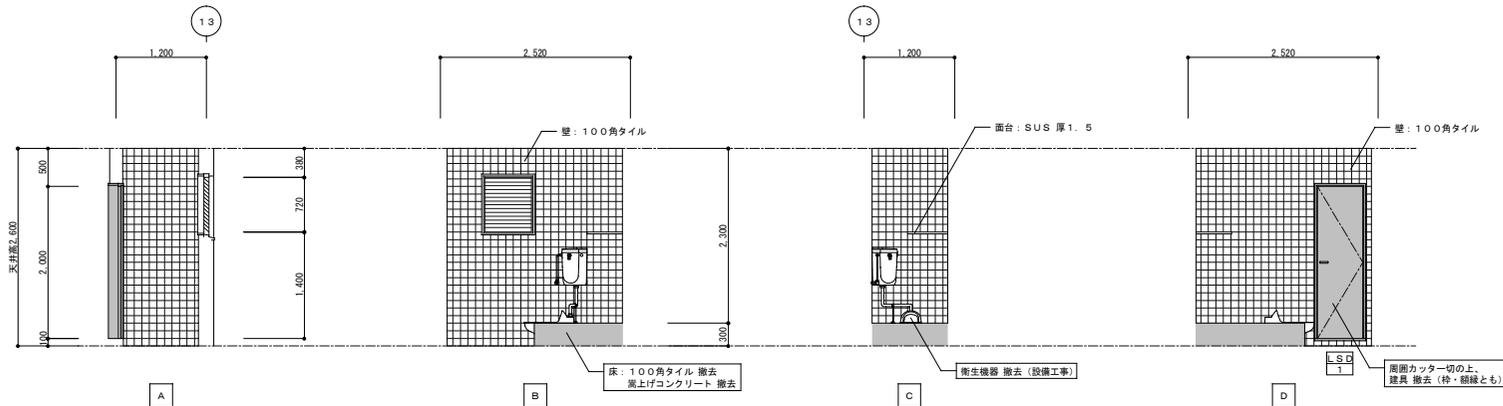
新設建具表				
記号	数量	仕様	新設	便所
			1ヶ所	1/50
※図面はすべて内観とする。				
建具		片開きフラッシュドア	見込	86
仕上		焼付塗装鋼板 厚0.6		
硝子		-		
金物		表示錠(サムターン)、レバーハンドル、ドアチェック、ピボットヒンジ スチール額縁、付属金物一式		
備考				

特記	既存のまま範囲	工事名	あやま保育所給食室改修工事		承認	管理建築士	印
	スラブコンクリート復旧範囲		図名	<改修>調理室平面詳細図			
					図面提出日	2022/01/19	

調理室展開図 S=1/50



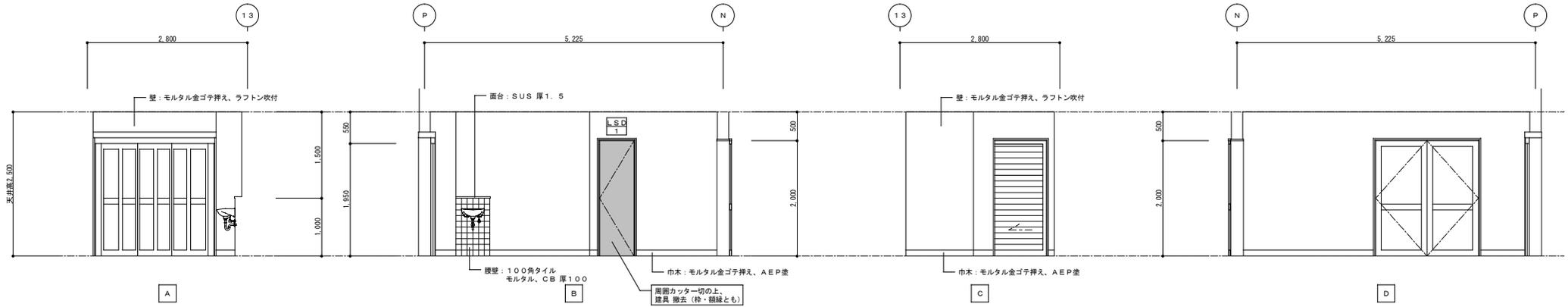
便所展開図 S=1/50



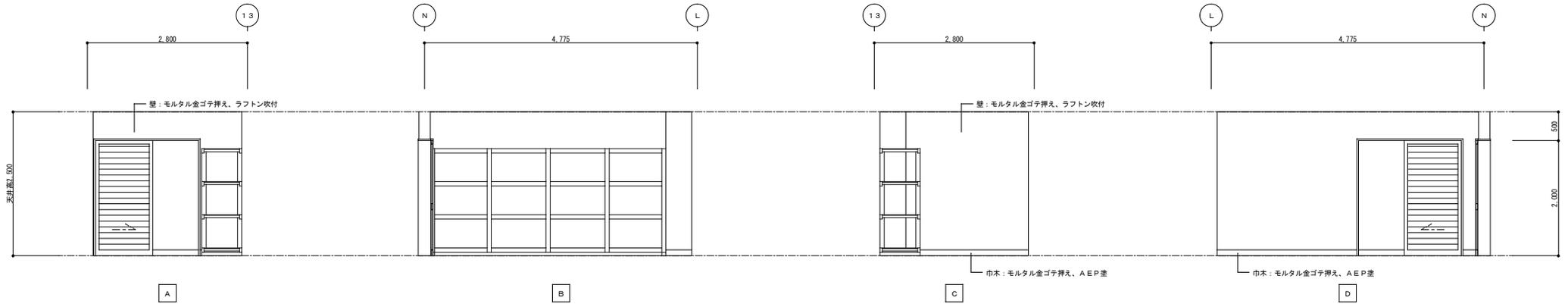
○ 凡例
 ■ 撤去範囲を示す。

特記	工事名	あやま保育所給食室改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	< 現況 > 展開図 1	縮尺 A 2 : 1 / 50 A 3 : 1 / 71	図面番号 A-14	図面提出日	2022/01/19	

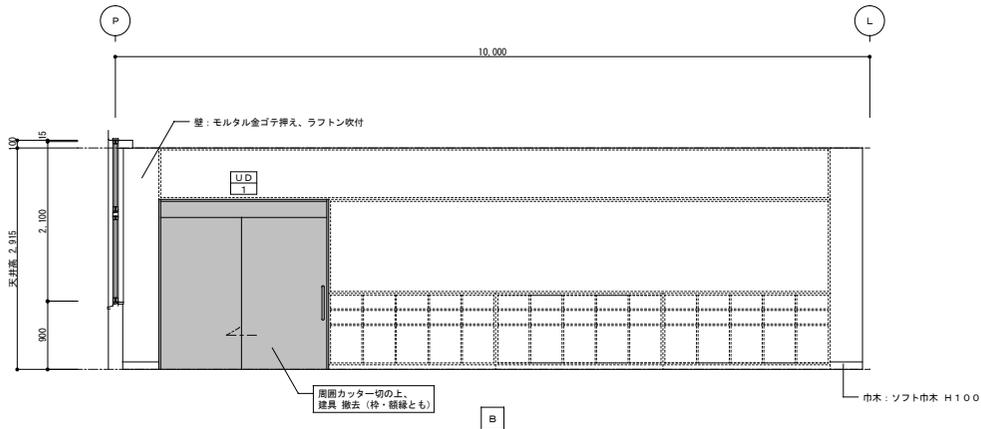
前室展開図 S=1/50



食品庫展開図 S=1/50



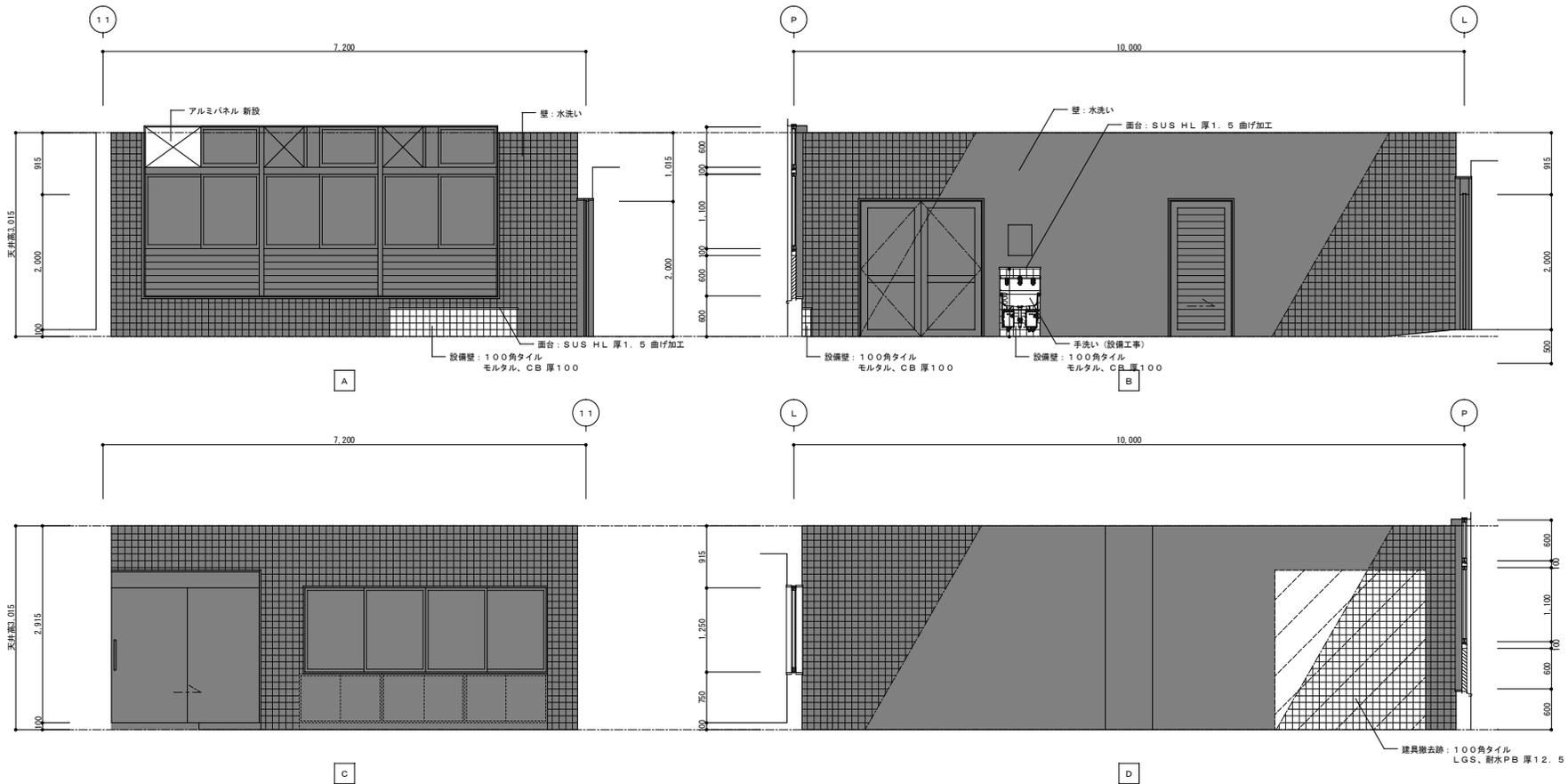
保育室4展開図 S=1/50



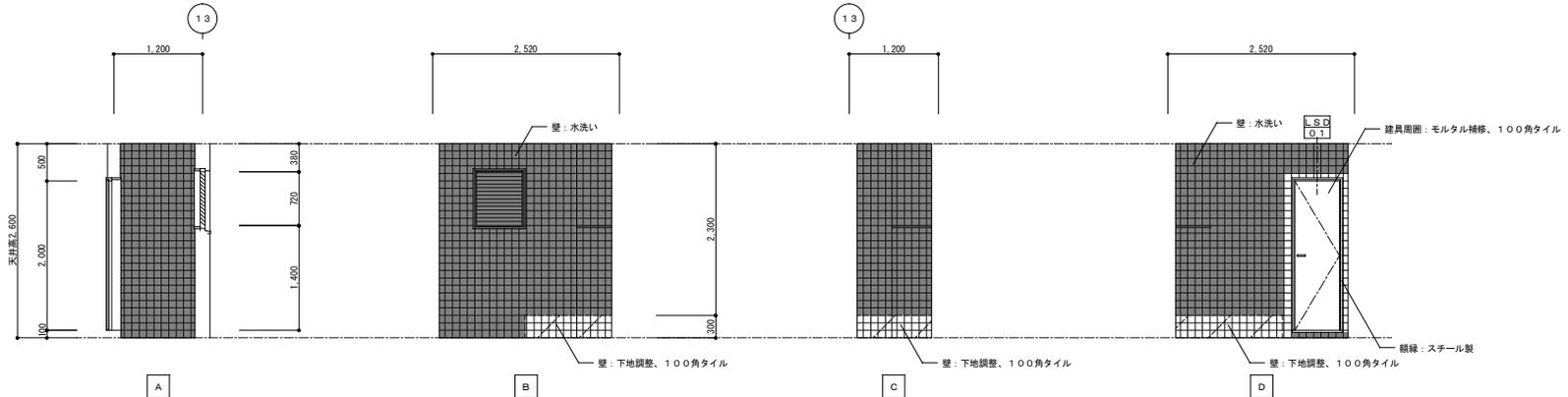
○ 凡例
 ■ 撤去範囲を示す。

特記	工事名	あやま保育所給食室改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	< 現況 > 展開図 2	縮尺	A2: 1/50 A3: 1/71	図面番号	A-15	
					図面提出日	2022/01/19	

調理室展開図 S = 1 / 50



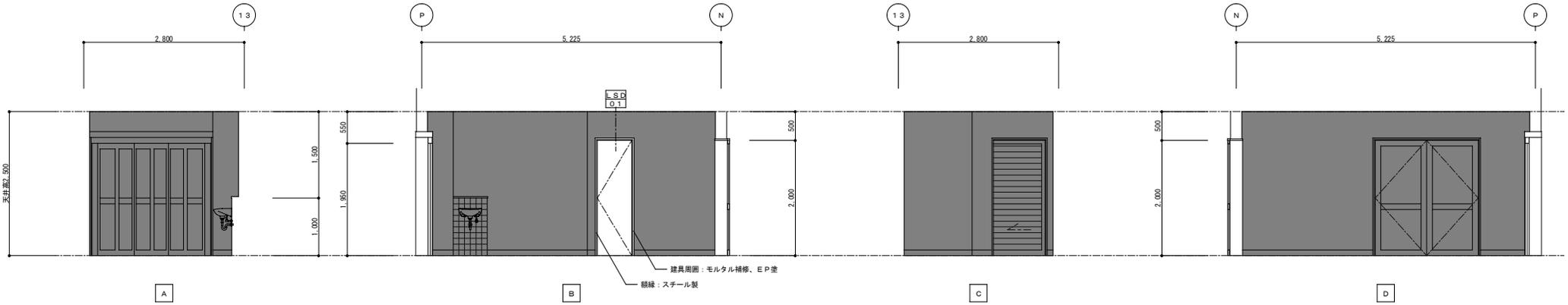
便所展開図 S = 1 / 50



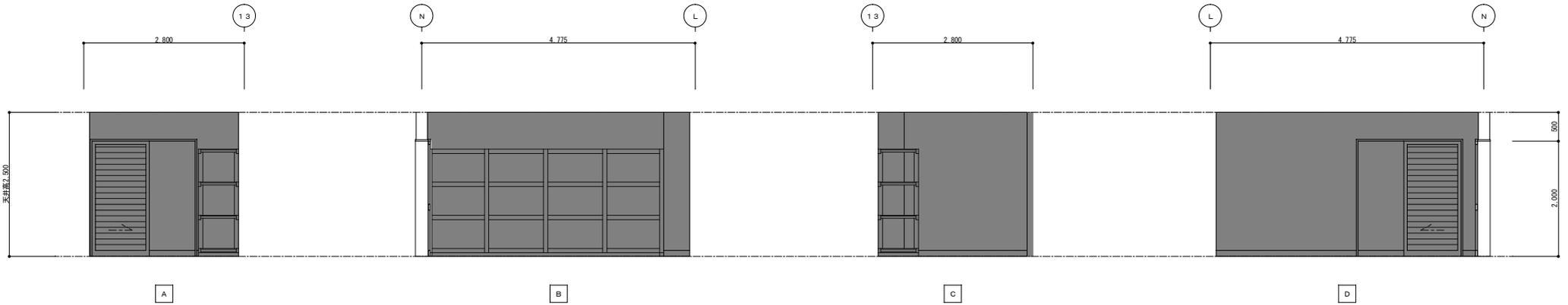
○ 凡例
■ 既存のまま範囲を示す。

特記	工事名	あやま保育所給食室改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	< 改修 > 展開図 1	縮尺	A 2 : 1 / 50 A 3 : 1 / 71	図面番号	A - 16	図面提出日

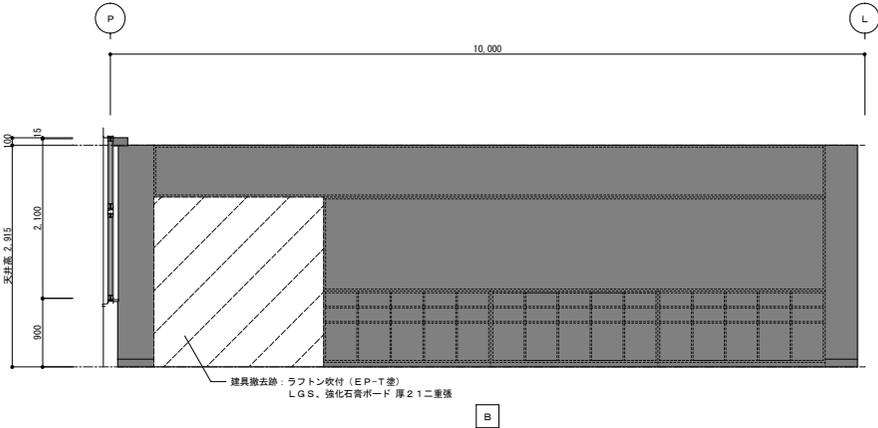
前室展開図 S = 1 / 50



食品庫展開図 S = 1 / 50



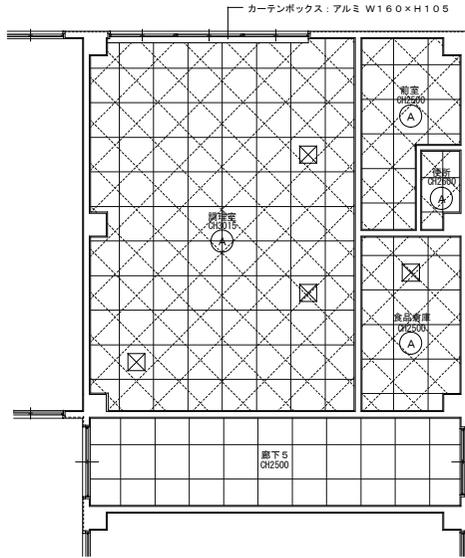
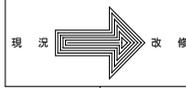
保育室4展開図 S = 1 / 50



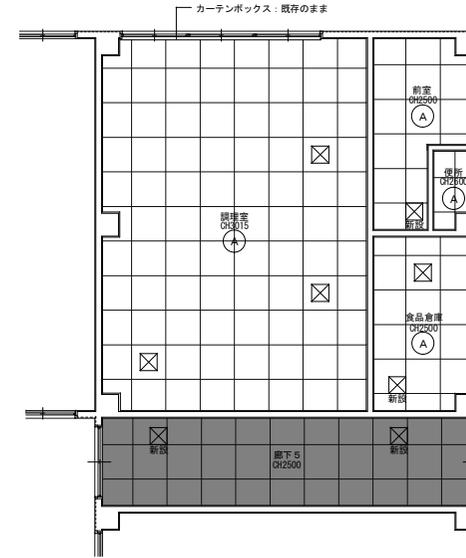
○ 凡例

■ 既存のまま範囲を示す。

特 記	工事名	あやま保育所給食室改修工事			承認	管理 建築士	印
	図名	< 改修 > 展開図 2	縮尺	A 2 : 1 / 50 A 3 : 1 / 7.1	図面番号	A - 17	
					図面提出日	2022/01/19	



< 現況 > 天井伏図 S = 1 / 100

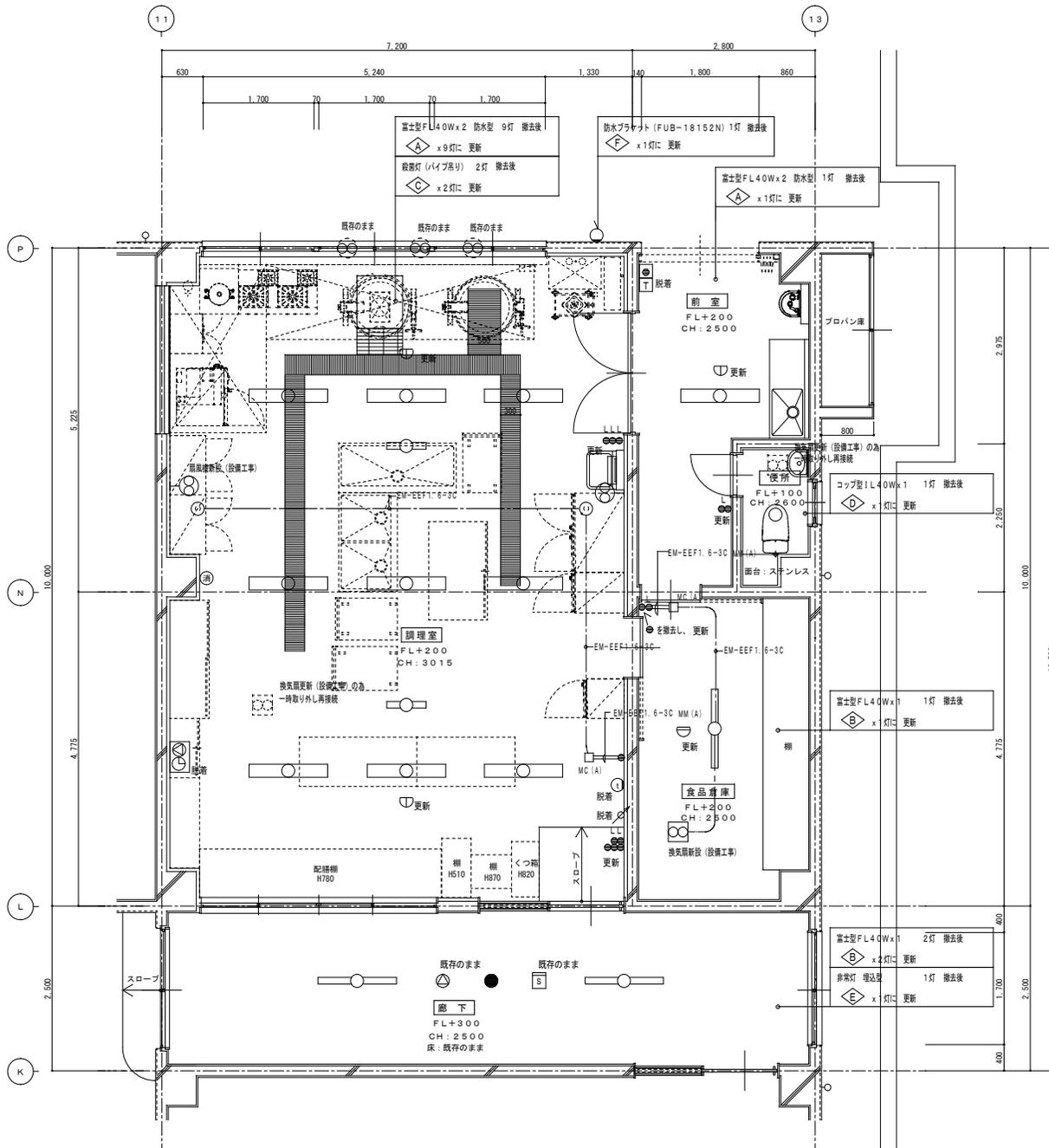


< 改修 > 天井伏図 S = 1 / 100

凡 例					
符号	下 地	仕 上	廻 縁	記 号	内 容
Ⓐ	LGS	ケイカル板 厚6 目透かし強、EP塗	塩ビ製	☒	天井点検口 450×450
				☒	改修範囲を示す。

凡 例					
符号	下 地	仕 上	廻 縁	記 号	内 容
Ⓐ	既存のまま	下地調整、EP-G塗	既存のまま	☒	天井点検口 450×450 既存のまま
				☒ 新設	アルミ天井点検口 新設 450×450 4ヶ所
				■	既存のまま範囲を示す。

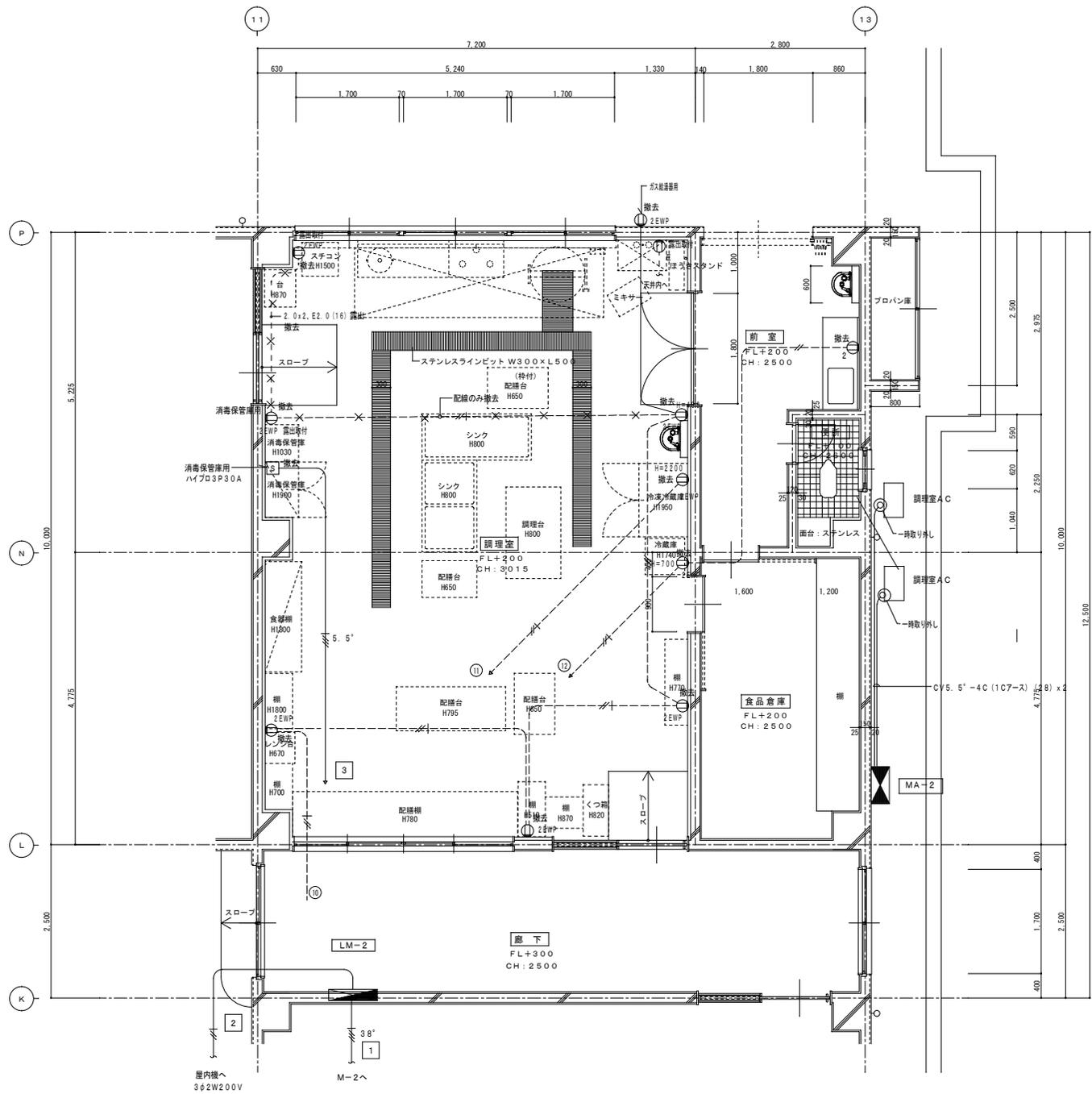
特 記	工事名	あやま保育所給食室改修工事			承 担	管理建築士	印
	図名	天井伏図	縮尺 A 2 : 1 / 100 A 3 : 1 / 141	図面番号 A - 18	開 業 日	2022/01/19	



◇ 一体型LEDベースライト 直付型 防湿防雨型 FHFS2Wx2 相当 消費電力 43.1W	◇ 一体型LEDベースライト 直付型 FHFS2Wx1 相当 消費電力 25.0W
	
LSS9MP/RP-4-64	LSS9-4-37
◇ LED投光灯 ハイブリッド型 GL6Wx1 相当	◇ LEDシーリングライト 直付型 50形電球 相当 消費電力 4.9W
	
FW01989 同等品	LGB58004FB 同等品
◇ LED非常灯 埋込型 ハロゲン9W 相当	◇ LEDポーチライト 防雨型 昼光色 消費電力 7.3W
	
K1-LRS11-1	LGW86230B 同等品

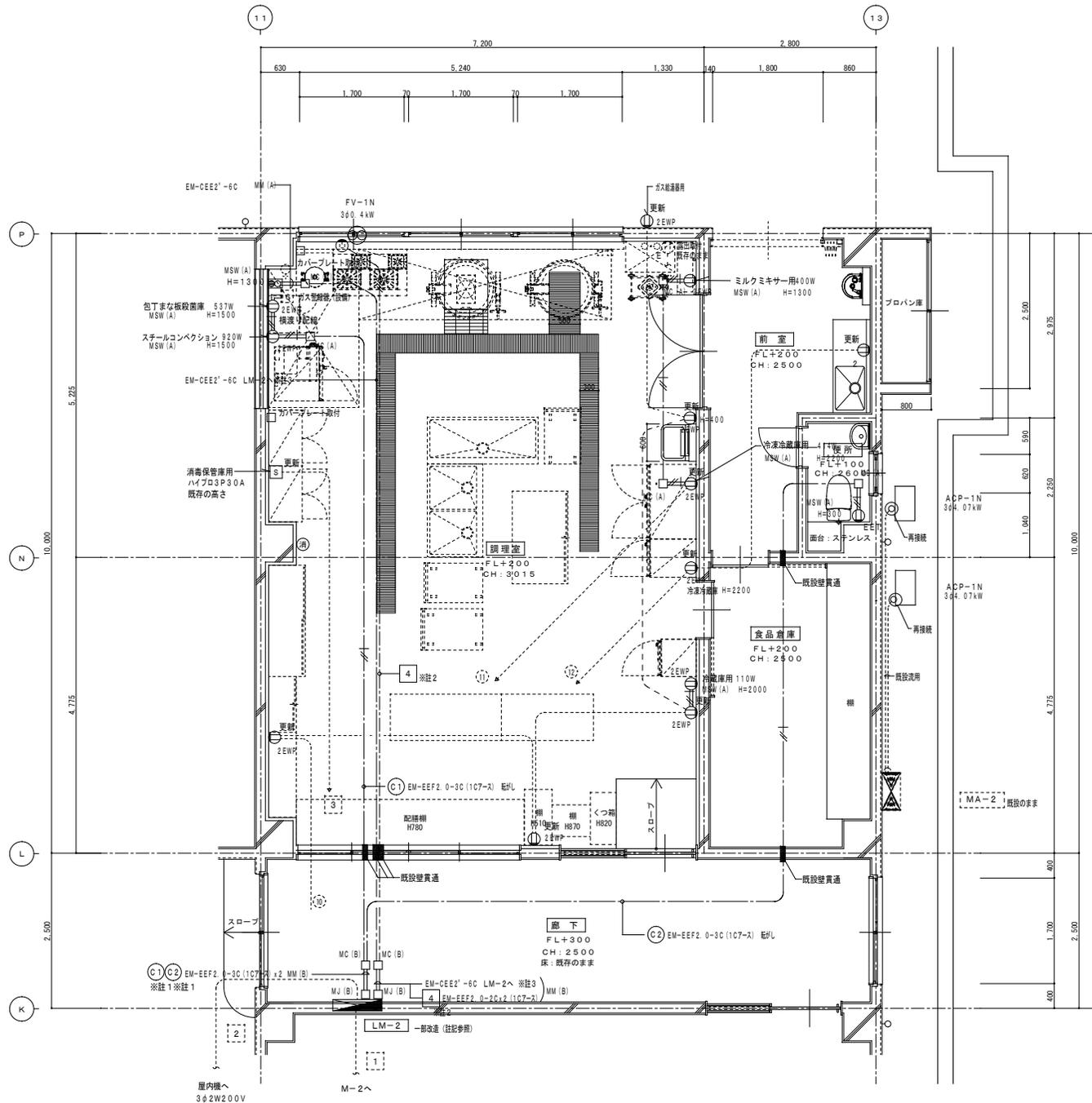
凡例	
●	埋込スイッチ 1P15A x 1
●	埋込スイッチ ON点灯 1P15A x 1
□	外壁灯用タイマースイッチ
⊖	差動式スポット型熱感知器 2種 露出型
⊖	定温式スポット型熱感知器 防水1種 露出型
⊖	光電式スポット型煙感知器 2種 露出型
⊖	天井埋込スピーカー
⊖	アッチネイター
⊖	スピーカー付子時計
⊖	インターホン機 VL-228
⊖	抜きコンセント 2P15A x 1

特記	既存のまま範囲	工事名	あやま保育所給食室改修工事		承認	管理建築士	印
		図名	<改修>LED化及び配線器具・機器 平面詳細図	図尺	A2: 1/50 A3: 1/71	図番	E-02
					図面提出日	2022/01/19	



- 特記事項
- 記入なき配管配線は下記とする。
 - 2.0x2, E2.0 PF (22) 土間隠べい
 - 2.0x2, PF (16) 土間隠べい
 - 5.5' 5.5' x 3, E5.5' PF (22) 天井隠べい
 - 3.8' 3.8' x 3, E1.4' (51) 天井隠べい
 - 2.0x2, E2.0 PF (22) 天井隠べい
 - 凡例
 - 2EWP 防水コンセント 接地付 2P15A x 2
 - 2 埋込コンセント 2P15A x 2
 - S 手元開閉器 メーカー付 仕様は傍記参照
 - X 撤去をします。

特記	床・壁撤去範囲	工事名	あやま保育所給食室改修工事		承認	管理建築士	印
		図名	<現況>動力コンセント設備 平面詳細図	縮尺 A2: 1/50 A3: 1/71	図面番号 E-03	図面提出日	2022/01/19



- 特記事項**
- 記入なき配管配線は下記とする。
 - EM-EEF2.0-3C (1C7-A) 天井転がし
 - EM-EEF2.0-3C (1C7-A) MM (A)
 - 既設配管配線をしめず。(現況図面参照)
 - 凡例
 - 2EW P 防水コンセント 接地付 2P15A x 2
 - 2E 埋込コンセント 2P15A x 2
 - S 手元開閉器 メーター付 仕様は傍記参照
 - ⊕ 動力コンセント 3P15A x 1、E付
 - ON-OFFランプ付操作ボタン
 - MM (A) 1種金属線び (メタルモール) A型
 - MC (A) 同上コーナーボックス A型
 - MJ (A) 同上ジャンクションボックス A型
 - MSW (A) 同上スイッチボックス A型
 - 点線表示の機器は既存のままをします。
 - ※注1: 予備ブレーカーに接続。
 ※注2: 増設ブレーカーに接続。
 ※注3: 増設マグネットSWに接続。
 - LM-2の改造の内訳は下記とする。
 食器消毒保管庫のブレーカーを3P50/20Aを3P50/30Aに取替
 4 用として、3P15AブレーカーとマグネットSWを増設
 - LM-2の名板も記載変更とする。

特記	既存のまま範囲	工事名	あやま保育所給食室改修工事		承認	管理建築士	印
		図名	<改修>動力コンセント設備 平面詳細図	縮尺 A2: 1/50 A3: 1/71	図面番号 E-04		
					図面提出日	2022/01/19	

衛生器具表				
名称	仕様	設置場所	便所	調理室
洋風便器(参考:TOT0)	CS597BMS、SH596BAYR、TCF5830AUS YH701(紙巻器) AC100V		1	1
手洗器(参考:TOT0)	L300M、TENA40AW(発電)、TS126AR(水石けん入)、他一式		1	1
消毒手洗器(参考:ナリ)	WS-3000BG、自動単水栓、壁排水、消毒液注、他一式 AC100V		1	1
レバー式自在水栓13(水)	T30AUN13 SUS製水栓柱(水) 70角×1300H		1	1
レバー式自在水栓13(湯)	T30AUN13 SUS製水栓柱(湯) 70角×1300H		1	1

機器表					
記号	名称	設置場所	機器仕様	台数	備考・参考型番
GH-1N	ガス給湯器	外壁	給湯能力 24号	1	
	屋外壁掛式		電源 AC100V		エコジョーズ
			その他 標準リモコン・リモコンコード		
			配管カバー		

空調機器表 形式—空冷式ヒートポンプエアコン

記号	名称	定格冷房能力 (kW)	定格暖房能力 (kW)	仕様	電源	数量	参考品番	備考	設置場所
					種別				
ACP-1N	厨房用天吊形	12.5	14.0	COMP 2.6kW 消費電力(冷)3.81kW(暖)4.07kW(低暖)6.65kW	3φ200V 屋外電源	2	PCZ-ERMP140HZ	ワイヤードリモコン 屋外機—防振パット敷	調理室

特記事項
1. 冷暖房能力は、JIS条件
2. 屋内機は、防振、耐震対策(振れ止め)、屋外機は、転倒防止対策を施工の事。
3. 屋外機基礎—タイガーベース
4. 屋外機の電源接続は電気工事とする。

換気設備 機器表

記号	名称	仕様・能力	電源	数	参考品番	付属品	設置場所
FV-1N	有任換気扇	低騒音形 排気用 風量 4200m3/h×160Pa 消費電力 400W	3φ200V	1	EFW-45ETA	コントロールスイッチ、取付枠、電動式シャッター、FD付ウレザ-加'- (SUS)	調理室
FV-2N	天井換気扇	低騒音形 サニタリー用 風量 450m3/h×80Pa 消費電力 82.0W	1φ100V	1	VD-23ZB12	天吊金具	調理室
FV-3N	天井換気扇	低騒音形 サニタリー用 風量 330m3/h×130Pa 消費電力 82.0W	1φ100V	1	VD-23ZB12	天吊金具	食品倉庫
FV-4N	天井換気扇	低騒音形 サニタリー用 風量 100m3/h×60Pa 消費電力 15.5W	1φ100V	1	VD-15Z12	天吊金具	トイレ

特記事項
1. 換気扇は防振吊り金物、耐震対策振れ止めを施工の事。
2. FD付PF又はFD付W・Cの図示のあるものはFD付とする。

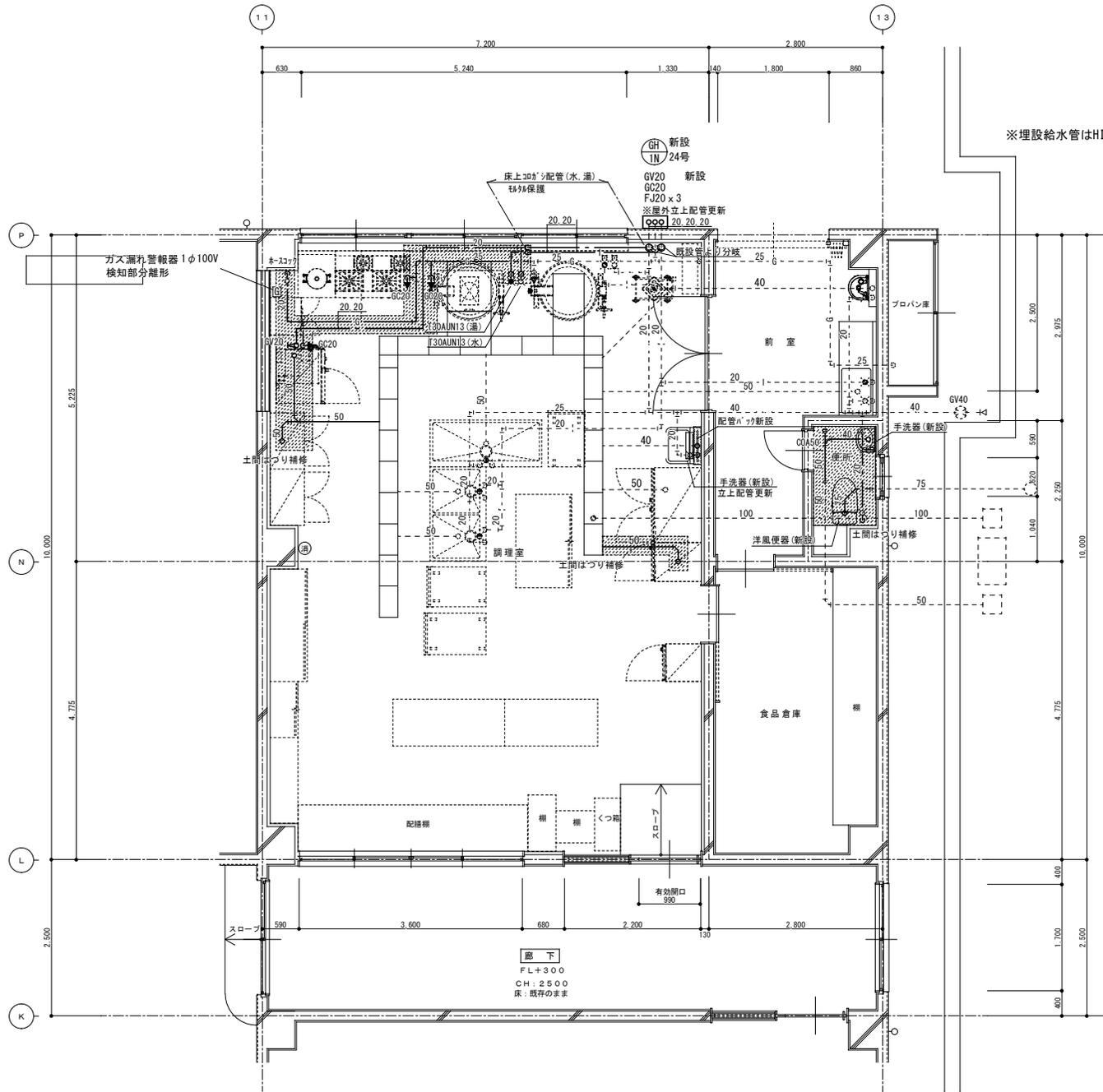
扇風機 機器表

記号	名称	仕様・能力	電源	数	参考品番	付属品	設置場所
CF-1	壁掛型扇風機	リモコンタイプ 羽根径 300φ 風量 2850m3/h 消費電力 38.0W 風速 3.6m/s	1φ100V	2	K-30YS	ワイヤレスリモコン	調理室

シックハウス症候群対策に基づく換気量の計算										
室名	室面積 (m2)	平均天井高 (m)	室容積 (m3)	換気回数 (回/h)	必要換気量 (m3/h)	決定換気量 (m3/h)	換気の種類	換気機器記号	換気回数 (回/h)	備考
厨房	72.00	3.02	217.44	0.3	65.232	450	第3種換気	FV-2N	2.0	

火気を使用する換気量の計算				
排気フード 厨房	調理器具 ガステーブル スチームコンベクションオープン	出力 46.8kW 33.7kW	フード吸込み面風速により求める方法 フード面積 2550×1500 フード吸込み面風速 0.3m/s 2.55×1.5×0.3×3600=413m3/h	大なる方を採用する。 よって4200m3/hとする。(排気ファン FE-1N)
V=40KQより 40×0.93×80.5kW=2994.6m3/h → 2995m3/h				

特記	工事名				図名	図尺	図番	図号	承認		管理建築士	印
	あやま保育所給食室改修工事								承認	承認		
					図名	図尺	図番	図号	承認	承認		
					機械設備工事 衛生器具表 機器仕様			M-02	承認	承認		
									図面提出日	2022/1/19		



※埋設給水管はHIVP、その他一般部給水管はSGP-VBとする。

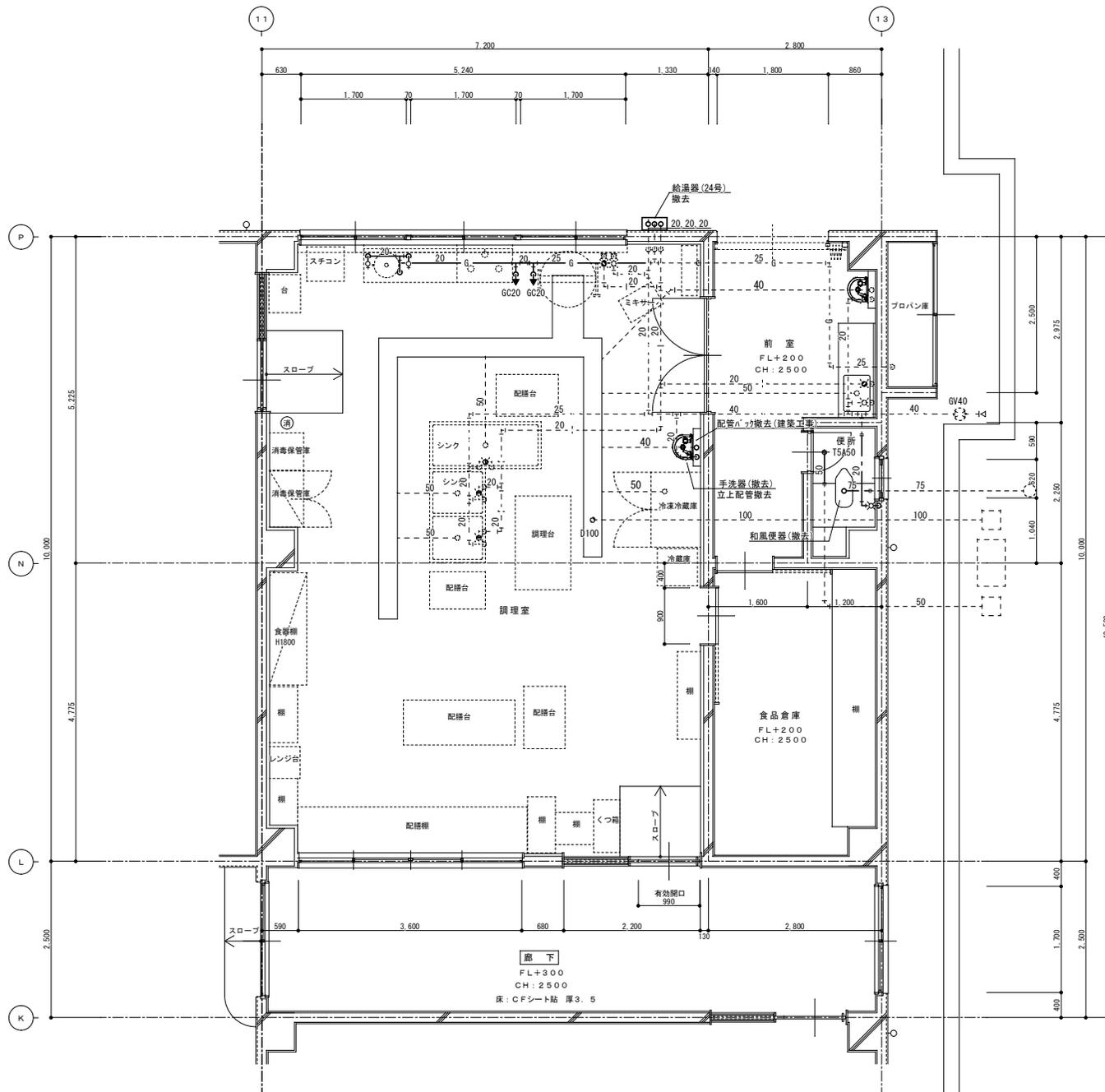
給排水衛生設備 新設工事要領

- ・衛生器具、給排水管、付属金具等を新設する。
- ・既設壁貫通部は既設穴を原則利用する。

既設配管部分 ———— 既設管接続部分
 配管新設部分 ————

- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

特記	工事名	あやま保育所給食堂改修工事		承認	管理建築士	印
	図名	給排水衛生設備 改修後 平面図	縮尺 A 2 : 1 / 50 A 3 : 1 / 71	図面番号 M-03	図面提出日	2022/1/19



撤去 衛生器具表 (便所)		
名称	仕様	数量
和風便器	ロータンク	1

撤去 衛生器具表 (調理室)		
名称	仕様	数量
手洗器	単水栓	1

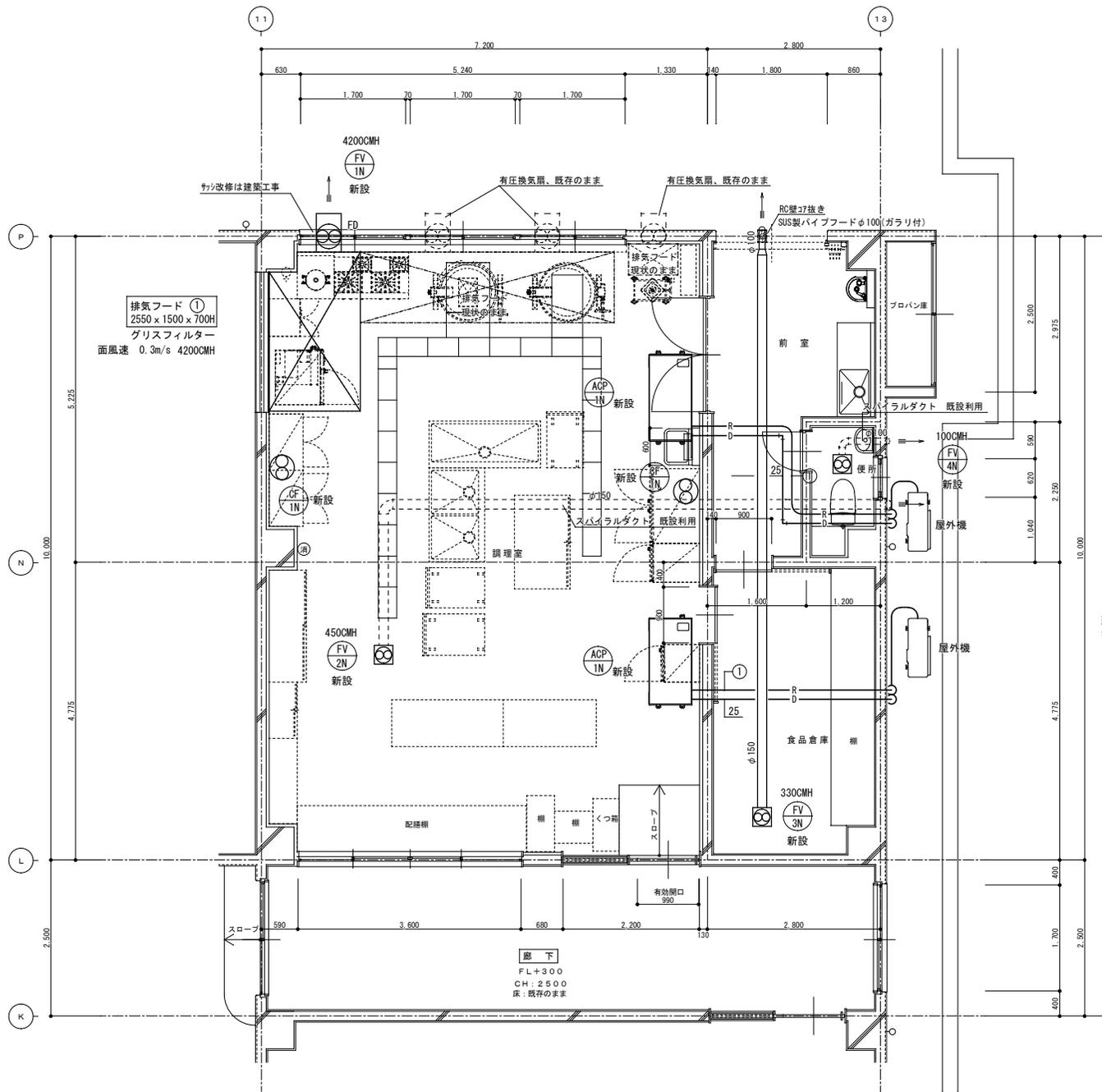
撤去 機器表 (屋外)		
名称	仕様	数量
給湯器	24号 屋外壁掛型	1

給排水衛生設備 撤去工事要領

- ・ 既設衛生器具、給排水管、付属金具等を撤去する。
- ・ 土間コンクリートはつり等躯体工事は建築工事。
- ・ 壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。

- ・ 既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

特記	工事名	あやま保育所給食室改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	給排水衛生設備 改修前 平面図	縮尺	A2 : 1/50 A3 : 1/71	図面番号	M-04	
					図面提出日	2022/1/19	

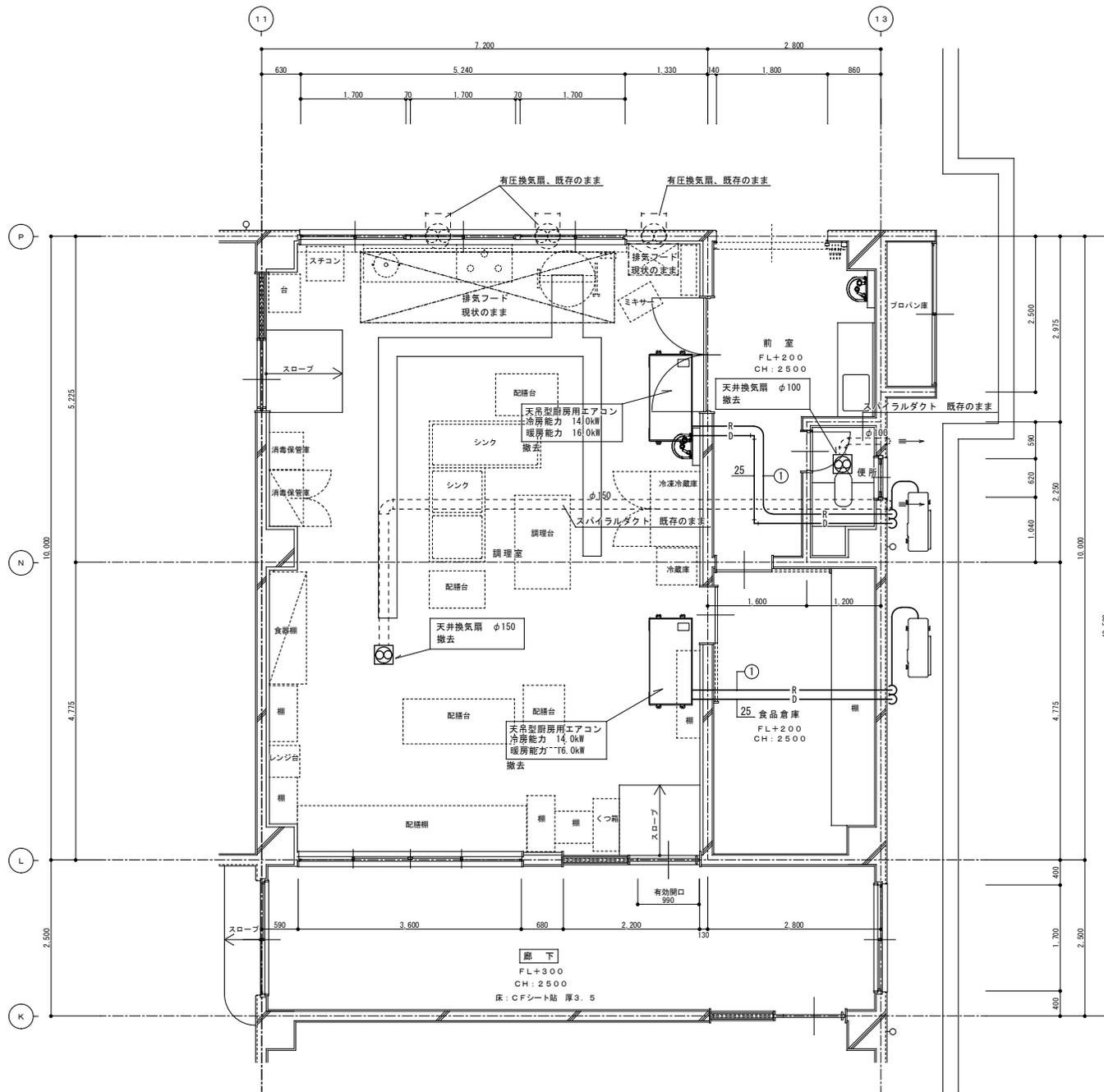


冷媒管サイズ表

記号	ガス管	液管	屋内外機連絡線
①	15.9φ	9.5φ	VVP2.0-3C

※ リモコン配線 CV1.25-2C

特記	工事名	あやま保育所給食室改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	空調・換気設備 改修後 平面図	縮尺	A2 : 1/50 A3 : 1/71	図番	M-05	
	図面提出日	2022/1/19					



冷媒管サイズ表

記号	ガス管	液管	屋内外機連絡線
①	15.9φ	9.5φ	VVF2.0-3C

※ リモコン配線 CWV1.25-2C

特記

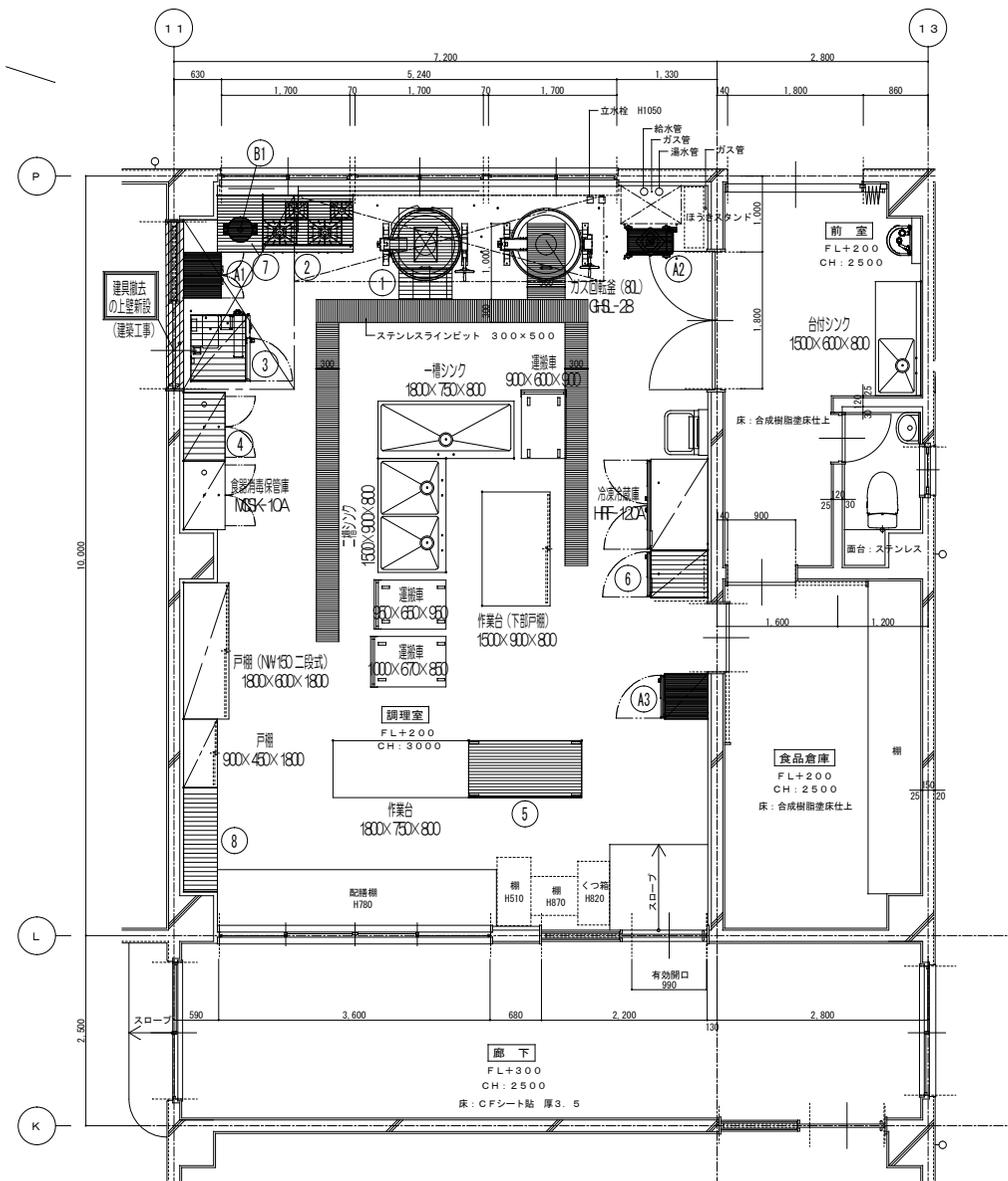
工事名 あやま保育所給食室改修工事

図名 空調・換気設備 改修前 平面図

縮尺 A2: 1/50
A3: 1/71

図面番号 M-06

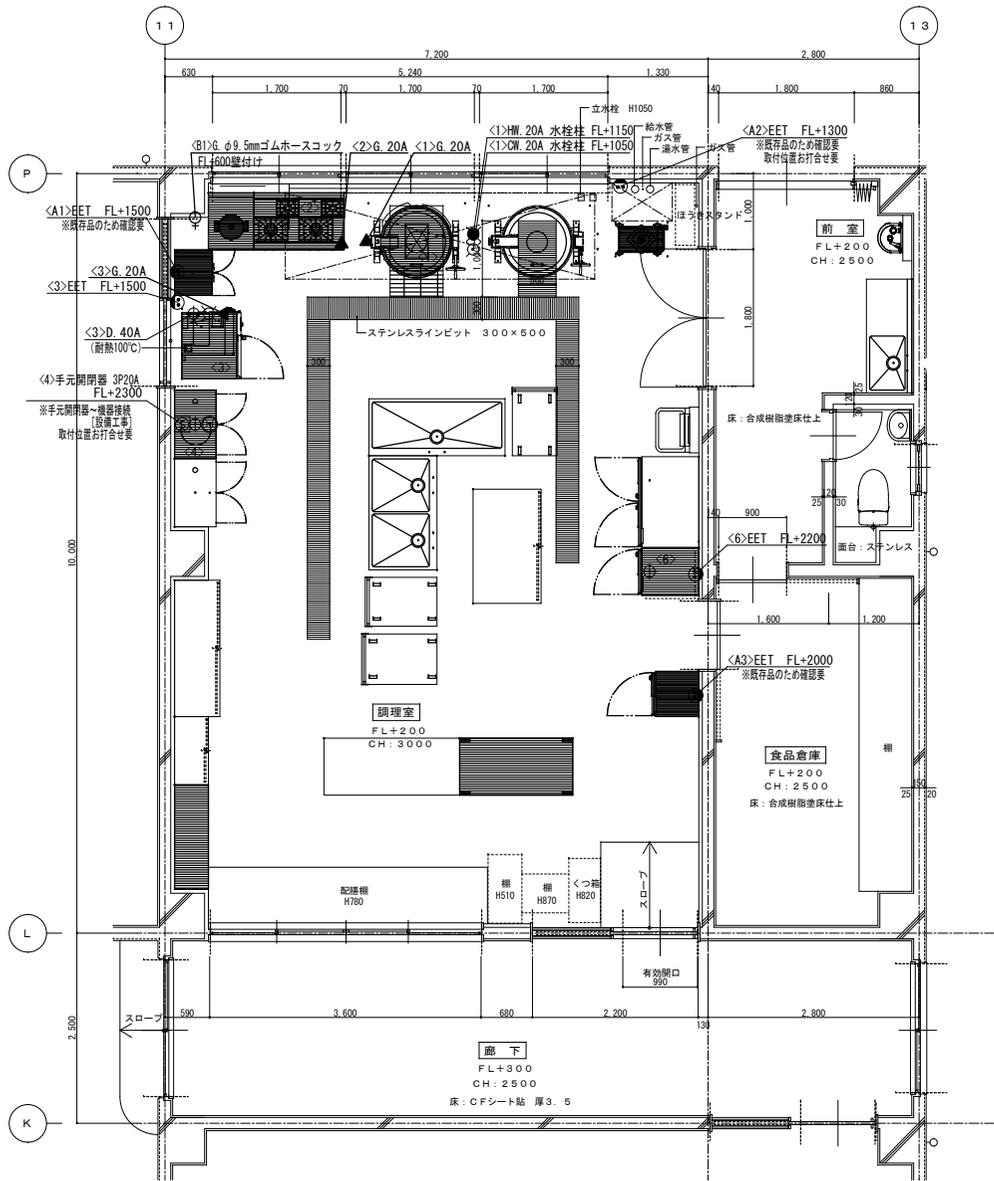
承認	管理建築士	印
図面提出日	2022/1/19	



品名	規格仕様	外形寸法 (m/m)			設置量	給排水				ガス (LPG)		電気 (V)			備考
		開口	奥行	高さ		給水 (A)	給湯 (A)	排水 (A)	ビュ	口径 (A)	消費量 (kW)	単相100V	単相200V	三相200V	
< 新設品 >															
1	ガス 回転釜	GSL-4-28 (特)	1350	984	1700	1	20	20	20	20	37.20				水1量器付・水550-1付
2	ガス テーブル	XY-1275T	1200	750	800	1				20	46.80				水1量器付・水550-1付
3	スチームコンベクションオーブン	CSW-G101-T	870	780	1820	1	15		40	20	33.70	0.920			水1量器付・水550-1付
4	消毒保管機	MCSK-10-e	900	550	1900	1			40				4.200		電気式付
5	移動台		1500	750	800	1									
6	冷凍冷蔵庫	HRF-63A	625	800	1910	1			40		0.414				空内設置用 (冷凍室1口・冷蔵室1口)
7	作業台		600	750	500	1									
8	作業台		1370	450	700	1									
< 移設品 >															
A1	釘打機	DS-113型	600	500	1030	1						0.537			
A2	ミルクミキサー	S-400	690	450	880	1						0.400			
A3	冷蔵庫	NR-W400-H	600	620	1740	1						0.110			
< 将来設置品 >															
B1	ガス 炊飯器	RR-200CF	446	335	374	1				φ1.5寸	4.710				2022年

注) 移設品の設備容量確認要 注) 設備容量の数値は各1台当たりを示す。 注) 付属品として記載のない備品類・収納物は含まない。

特記	工事名	あやま保育所給食室改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	厨房設備平面図・機器リスト		縮尺			
					図面提出日	2022/01/19	



品番	名称	規格仕様	外形寸法 (m/m)			数	給排水		ガス (LPG)		電気 (V)			備考
			開口	奥行	高さ		排水 (A)	給水 (A)	ガス (A)	消費電力 (kW)	単相100V	単相200V	三相200V	
＜新設品＞														
1	ガス回転蓋	GISL4-28 (特)	1350	984	1700	1	20	20	ガス	37.20				※水廻りリットル排水ドロ-ボ
2	ガステーブル	XY-1275T	1200	750	800	1			20	46.80				◎
3	スチールコンベクションオーブン	CSM-G101-T	870	780	1830	1	15	20	20	33.70	0.920			◎ 赤外線パン110℃ 専用付
4	消火器 壁掛機	MCSK-10-e	900	550	1900	1		40					4.200	※取付位置
5	移動台		1500	750	800	1								
6	冷凍冷蔵庫	HRF-63A	625	900	1910	1		40		0.414				※冷凍庫内径44L (冷蔵室21L 冷凍室41L)
7	作業台		600	750	500	1								
8	作業台		1370	450	700	1								
＜移設品＞														
A1	釘打まな板設置庫	DS-113型	600	500	1030	1					0.537			
A2	ミルクミキサー	S-400	690	450	880	1					0.400			
A3	冷蔵庫	NR-W400-H	600	620	1740	1					0.110			
＜採入設置品＞														
B1	ガス炊飯器	RR-200CF	446	335	374	1			φ9.5寸	4.710				※併せ

注) 移設品の設備容量確認要 注) 設備容量の数値は各1台当たりを示す。 注) 付属品として記載のない備品類・収納物は含まない。

＜シンボル凡例＞



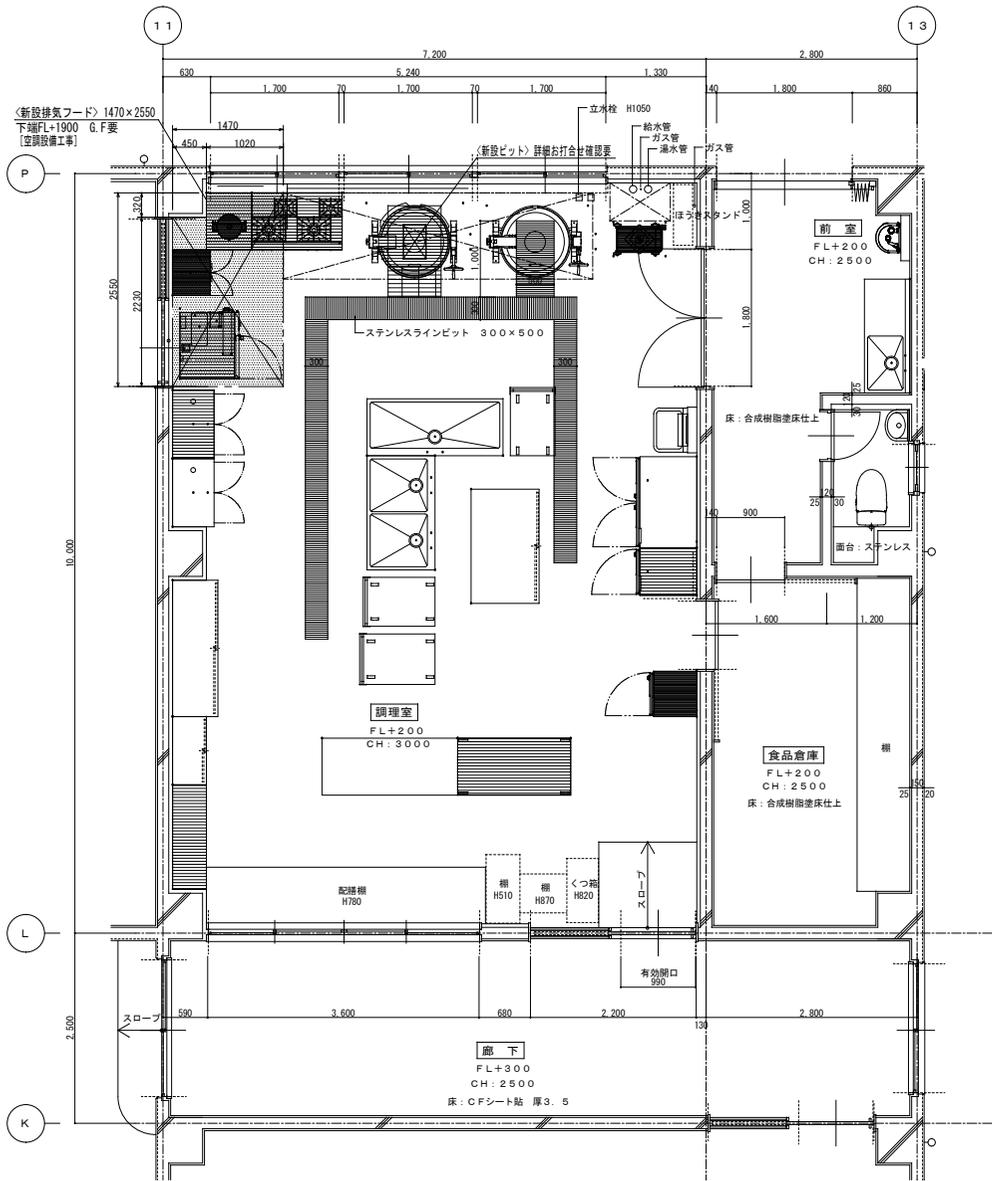
※指示なき給水・給湯・排水・ガスは接続位置を示しています。
 ※カランはすべてレバー式を推奨する。
 ※指示なきシンボルは凡例表に準ずる。

＜コンセント凡例＞

記号	容量	参考型式 (標準品)	形状
EET	接地2P15A ET付コンセント	WN11314	◎

※厨房機器に必要な電気設備のみを記載。予備コンセントは別途。
 ※分電盤は厨房機器に干渉しない位置で設置のこと。
 ※配線の長さは立ち下げ位置から接続までの距離を考慮すること。
 ※「立上げ」の箇所は防水処理を要する。

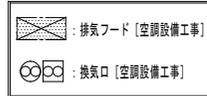
特記	工事名 あやま保育所給食室改修工事	図名 厨房設備 給排水・ガス・電気設備位置図	縮尺 A2: 1/50 A3: 1/71	図面番号 M-08	承認 2022/01/19	管理建築士 印
----	----------------------	---------------------------	----------------------------	--------------	------------------	------------



品番	名称	規格仕様	外形寸法 (m/m)			数	給排水			ガス (LPガス)		電気 (V)			備考
			開口	奥行	高さ		給水 (A)	排水 (A)	ガス (A)	消費電力 (kW)	単相100V	単相200V	三相200V		
< 新設品 >															
1	ガス回転釜	GSL4-28 (特)	1350	984	1700	1	20	20	20	20	37.20				① 水入量計付
2	ガステーブル	XY-1275T	1200	750	800	1				20	46.80				①
3	スチームコンベクションオーブン	CSM-G101-T	870	780	1830	1	15		20	33.70	0.920				① 赤外線パン(1) 10段 専用付
4	消毒保管機	MCSK-10-e	900	550	1900	1		40					4.200		① 専用付
5	移動台		1500	750	800	1									
6	冷凍冷蔵庫	HRF-63A	625	900	1910	1		40			0.414				① 冷凍内蔵庫4L (冷蔵室2L, 冷凍室2L)
7	作業台		600	750	500	1									
8	作業台		1370	450	700	1									
< 移設品 >															
A1	袋丁まな板設置庫	DS-113型	600	500	1030	1						0.537			
A2	ミルクミキサー	S-400	690	450	880	1						0.400			
A3	冷蔵庫	NR-W400-H	600	620	1740	1						0.110			
< 採入設置品 >															
B1	ガス炊飯器	RR-200CF	446	335	374	1				φ9.5寸	4.710				① 2升付

注) 移設品の設備容量確認要 注) 設備容量の数値は各1台当たりを示す。 注) 付属品として記載のない備品類・収納物は含まない。

< フード凡例 >



※フード寸法はカマチを含まない有効寸法を示す。
 ※排気フードI型と同等とみなせる排気フードとし、
 有効換気量は理論換気量の40倍とする。

特記	工事名	あやま保育所給食室改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	厨房設備 排気フード・ビット位置図	縮尺	A2: 1/50 A3: 1/71			
	図面提出日	2022/01/19					